

官報

號外

明治三十二年一月十九日

木曜日

印刷局

第十三回 衆議院議事速記録第十七號

明治三十二年一月十八日(水曜日)午後一時十分開議

議事日程 第十五號 明治三十二年一月十八日

午後一時開議

第一 北海道舊土人保護法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 官吏遺族扶助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 臺灣銀行補助法案(政府提出) 第一讀會(委員長報告)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 新聞紙條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 郵便條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第九 供託法案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十一 特別年限地租増徴ニ關スル法律案(藤金作君外) 第一讀會

第十二 明治三十二年法律第十五號會計検査院法中改正法律案(工藤行幹君) 第一讀會

第十三 明治三十九年法律第九十一號中改正法律案(工藤行幹君) 第一讀會

第十四 會計検査院長官評定官懲戒法案(工藤行幹君) 第一讀會

第十五 愛媛縣下郡界變更法律案(重岡嘉五郎君提出) 第一讀會

第十六 府縣農事試驗場國庫補助法案(稻垣示君外) 第一讀會

第十七 (特別報告第一號)憲法ノ保護ヲ受クル請願外一件(委員長報告)

第十八 (特別報告第二號)鹿兒島縣大島郡各離島航海補助費増額ノ請願(委員長報告)

第十九 (特別報告第三號)民法中修正ノ請願(委員長報告)

第二十 (特別報告第四號)衆議院議員選舉法中改正ノ請願外一件(委員長報告)

第二十一 (特別報告第五號)薩哈噠島鹹魚輸入關稅免除ノ請願(委員長報告)

第二十二 (特別報告第六號)官有地無料拜借人ニ對スル處分ノ請願(委員長報告)

第二十三 (特別報告第七號)鐵道國有ニ關スル請願(委員長報告)

第二十四 (特別報告第八號)宮津港ヲ以テ商港ト爲スノ請願(委員長報告)

第二十五 (特別報告第九號)支那漆輸入關稅免除ノ請願(委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマスル

(寺田書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國債ヲ外國ニ於テ募集スル場合ニ關スル法律案

戎器火藥類取締法案

臺灣總督府法院ノ判決ニ對スル大審院ノ裁判權ニ關スル法律案

明治三十二年度歲入歳出總豫算追加案(第三號)並明治三十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(追第二號)

根本正君外四名提出ニ係ル外交官及官吏俸給ニ關スル質問ニ對シ山縣內閣總理大臣青木外務大臣ヨリ左ノ答辯アリ

衆議院議員根本正君外四名提出外交官及官吏俸給ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十二年一月十六日

衆議院議長片岡健吉殿

衆議院議員根本正君外四名ヨリ提出ノ外交官及官吏俸給ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 海外ヘ在勤セシムル見込ナキ者ヲ待命外交官ニ任命スルコトナシ

一 待命外交官トハ海外ヨリ歸朝シタル外交官ニシテ一時外國在勤ヲ免シタル者ト外務省官吏ヨリ外交官ニ轉任シテ未タ任命セサルモノニ限ル

一 官吏ノ退職スル前日又ハ數日前ニ於テ之ニ増給セシムル者アルハ其ノ功績ニ酬ユルナリ

右及答辯候也

明治三十二年一月十六日

內閣總理大臣侯爵山縣有朋

外務大臣子爵青木周藏

利光鶴松君伊藤德三君島田三郎君後藤文一郎君田口卯吉君鈴木總兵衛君藤澤養之輔君花井卓藏君ヨリ民法中改正法律案ヲ提出セラレタリ

日本銀行課稅法案ハ提出者河北勘七君外一名ヨリ撤回ノ旨申出ラレタリ

野間五造君ヨリ臺灣施政ニ關スル質問書ヲ提出セラレタリ

特別委員左ノ通り指名セリ

國籍法案委員

山田 武君 安部井 磐根君 林 喬君

花井 卓藏君
大隈 英啓君
明治三十九年法律第六十三號中改正法律案委員

磯田 和藏君
村野常右衛門君
板東勘五郎君

須藤 善一郎君
竹内 正志君
野間 五造君
藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案委員

西谷 金藏君
大野 龜三郎君
村瀬 庫次君

中島 祐八君
門馬 尚經君
鈴木 萬次郎君
裁判所設立廢止及管轄區域變更ニ關スル法律案委員

脇坂 行三君
岡野 寛君
雨森 菊太郎君

望月 長夫君
菊地 九郎君
木村 格之輔君
宅地組換法案委員

江島 久米雄君
本城 安次郎君
堀 豐彦君

武市 彰一君
木村 誓太郎君
加藤 六藏君
臺灣施政ニ關スル質問

高木 正年君
恆松 隆慶君
吉岡 直一君

臺灣施政ニ關スル質問
第一 對岸ニ關スル今後當局者ノ方針

石田 貫之助君
横山 富次郎君
田口 卯吉君

第二 航路保護ニ關スル今後當局者ノ方針

第三 土匪ニ關スル今後當局者ノ方針

第四 徵稅ニ關シテ今後當局者ノ方針

第五 不動產ニ關シテ今後當局者ノ方針

第六 度量衡ニ關シテ今後當局者ノ方針

第七 土人教育ニ關シテ今後當局者ノ方針

第八 生蕃ニ關シテ今後當局者ノ方針

第九 臺灣銀行設立ニ關スル今後當局者ノ方針

第十 臺灣鐵道ニ關スル今後當局者ノ方針
右質問ニ及ヒ候也
明治三十二年一月十六日

提出者 野間 五造
贊成者 鳩山 和夫
外三十五名

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許可スルコトニ致シマス
○杉田定一君(二百九十九番) 議長、報告ガアリマス
○野間五造君(百九十八番) 議長
○議長(片岡健吉君) マダ會議ヲ開カヌノデスガ——是ヨリ會議ヲ開キマス、杉田君ノハ何ノ報告デスカ
○杉田定一君(二百九十九番) 北海道舊土人保護法案ニ就イテノ報告デス
○議長(片岡健吉君) 政府ハ質問ヲ出サレタ、其質問ニ就イテ發言ヲ請フ者ガアリマスカラ、其方ヲ先ニ許シマス——野間五造君
○栗原亮一君(八十七番) 三十一年度ノ追加豫算ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、此場合委員一同ノ退席ヲ許サレンコトヲ請ヒマス
○議長(片岡健吉君) 豫算委員會長カラ此時間ニ、豫算委員會ヲ開キタイト云フ請求デアリマスガ、御異議ナケレバ、許スコトニ致シマス
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

(野間五造君演壇ニ登ル)

○野間五造君(百九十八番) 私ハ此臺灣ノ施政ノ方針ニ關シテ、當局者ニ向テ質問書ヲ提出致シマスカラ、其理由ヲ是カラ述ベヤウト考ヘリノデアリマス、臺灣ノ問題ト云フモノガ、當時朝鮮ノ一大問題トナツテ居リマシテ、筆ニ口ニ餘程ヤカマシク言ヒツ、アルト云フコトハ、申上ゲナクテモ御承知ノ次第デゴザイマス、自分ハ其儀ニ附キマシテ、當局者ニ對シテ質問ガシタイト考ヘマスカラ、ドウカ其一々ニ就イテ、御答辯ヲ願ヒタイト考ヘルノデアリマス、是ニ就キマシテ過日貴族院デハ伊澤君、衆議院デハ高木正年君カラシテ御質問ガアリ、或ハ御演説ガアリマシテ、一應盡シタウデゴザイマスガ、私ハ其方面トハ違タ方カラ、御尋シタイノデアツテ、御兩君ノデハチト私ハ満足致シマセヌ次第デゴザイマス、改テ茲ニ質問書ヲ提出致シタコトデゴザイマスガ、私ハ洩底臺灣ニ上陸ヲ致シマシタ以來五年ニ亙ル足掛ケ殆ド臺灣ニ住ンデ居リマシテ、臺灣ニ於テハ自分ガ、民間デハ一番古イト云フコトダケハ、人モ承知シテ居ルト云フコトニ考ヘテ居ル次第デ、此五年ノ間ニ自分ノ眼ノ前ニ臺灣ノ歴史ト云フモノハ、著々活キテ飛ンデ走ッタト云フコトデゴザイマスデ、私ハ意見ト云ヒ説ト云フヤウナモノハ別段詳シク持ッテ居ナイトシテモ、免ニ角眼ニ見タリ耳ニ聞イタリシタ事實ダケハ、人ヨリモ澤山ニ知ツテ居ルダラウト云フ考カラシテ、私ハ茲ニ諸君ノ前ニ今日ノ現況ノ臺灣ノ始末ヲ曝露シテ、サウシテ時ノ當局者ニ對シテ、明カノ説明ヲ願ヒタイト思フノデス、私ハ今日初テノ演説デゴザイマシテ、初舞臺デゴザイマスカラ、場處慣レテ居リマセヌデ、甚ダ申スコトガ御聽苦シイカモ知レナイト考ヘマスレドモ、暫時御辛抱ヲ願ヒタイ(簡單ト呼フ者アリ)
少シ長クナリマス、現今ノ臺灣ノ始末ニ就イテ、此土地ニ於キマシテモ、新聞デモ餘程ヤカマシク云ヒツ、アリ、並ニ又之ニ就イテ臺灣カラシテ、委員ガ參ッテ居ツテ、ソレデ當局ノ總理大臣ニ對シテ、質問ヲ致シタリ杯シテ居ルト云フコトハ、當地ノ始末デ、餘程民間ニ於テ騒イデ居ルト云フ風ナ工合デゴザイマス、又外國デハ御承知デモゴザイマセウガ、香港ノ「テレグラフ」トカ、或ハ香港ノ「エキスプレス」デハ、非常ニ攻撃ノ筆ヲ昨今揮ッテ居ツテ、ソレデ

場合ニ依レバ、外交ノ問題デモ、惹起シハシマイカト云フマデ、論ジテ居ルト云フ始末デゴザイマス、ソレカラ臺灣ノ内地ハ、ドウカト云フト、日本人ノ内地ノ人ノ居住人ト、及其臺灣ノ土人トノ間ニ各、組合ヲ拵ヘマシテ、總督トカ時ノ民政長官杯ニ迫ッテ斯ウ云フコトハ、ア、シテ吳レナケレバナラヌ、土匪ノ始末ハドウシテ吳レト云フ如キ質問ヲ持ッテ、往ッテサウシテ今日ハガヤ、其ノ中デデス、殊ニ當時注目スベキ事柄ト云フモノハ、彼ノ土地ニ於テ二十年來生活シテ居ル西洋人デマツケイト云フ者ガアルノデアル、ソレハ「ホエヤア」ボルモサ「ト云フ本ヲ拵ヘテ世界ニ臺灣ヲ紹介シタノデコザイマスガ、此人ハ日本ノ軍隊ガ彼ノ地ニ參ルト同時ニ餘程日本ノ軍隊ヲ歡迎シテ、自分ノ有シテ居ル信徒ノ澤山ヲシテ歡迎セシメテ、ソレデ我行政部ニ向ッテハ大變ナ裨益ヲ與ヘタト云フ始末デゴザイマスガ、此人ト云フ者ハ今日日本最負デアルニ拘ラズ、此唯今ノ臺灣ノ始末ニ就イテハ、一ノ建白書ト云フモノヲ總督府ニ出シテ居ル、是等ノ仲間デ臺灣ニ居留シテ居ル外國人ノ仲間ノ中ニハ、今云フマツケイト其他デビツトツント云ウテ元ト桑港ノ「クロニクル」ノ記者デ日本ノタメニ非常ニ亞米利加デ働イタ人デアッテ、臺灣ノコトニ就イテハ、非常ニ辯護シテ是マデ居ッタノデアルニ拘ラズ、今ハ亞米利加ノ代理領事ヲシテ居ル、是等ノ日本最負ノ人デスラ、最早今日ハ見ルニ見兼ネテ、ソレデトウノ外人ノ間ニ一ノ仲間ヲ拵ヘテ、サウシテ總督府ニ向ッテ追ッテ居ル事實ガアルノデアル、此マツケイト建白書ハ確ニ新聞ニ載ッテ居リマシタカラ、御承知デアラウカト考ヘル、斯ノ如ク攻撃ガ盛ンデゴザイマシテ是ハ今始ッテ攻撃デハナイ、元カラ臺灣ノ事實ニ就イテハ、大部世間ニ評論ノアツタコトデゴザイマスガ、始是ハ乃木總督ノ時分カラシテ根ヲ生ヤシテ、サウシテ今日其花ガ將ニ咲カントシテ居ル始末デアアルノデ、此仇花ニ對シテモ當時ノ當局者ハ、ソレヲ防遏シナイデ、益、肥デモ與ヘルト云フヤウナ方針ニナッテ居ナイカト云フコトヲ私ハ心配シテ居ル次第デゴザイマス、是ハ永クアチラニ住ンデ居リ、臺灣ノコトノ幾分カ事情ヲ知ッテ居ル上カラシテ、今日必要ニ驅ラレテ茲ニ私ハ十箇條ノ質問書ヲ提出シタ譯デゴザイマスガ、第一番ハ對岸ニ關スル今後當局者ノ方針、第二ハ航路保護ニ關スル今後當局者ノ方針、第三ハ土匪ニ關スル今後當局者ノ方針、第四ハ行政ニ關スル今後當局者ノ方針、第五ハ不動產ニ關スル今後當局者ノ方針、第六ハ度量衡ニ關スル今後當局者ノ方針、第七ハ土人ノ教育ニ關スル今後當局者ノ方針、第八ハ生蕃ニ關スル今後當局者ノ方針、第九ハ臺灣ノ銀行ニ關スル今後當局者ノ方針、第十ハ臺灣鐵道ニ關スル今後當局者ノ方針、此十箇條ニ就イテ質問ヲシタイト思フノデゴザイマス、外ニ法律第六十三號、ソレカラ先日モ當局者カラ御話ニナッタ如ク、或晚出ルサウデゴザイマスガ、此六十三號ト六千萬圓ノ公債法案ト云フモノハ、ソレガ出マシタ當時ニ私ハ少シク伺ッテ見タイト考ヘルノデアル、現ニ六十號ニ就イテハ、自分モ特別委員ニナッテ居リマスカラ、委員室デ伺ッテ見ヤウト云フ考デゴザイマス、第一番ガ對岸ニ關スル所ノ質問ハ、ドウカ外務大臣ニ向ッテ御答辯ヲ願ヒタイノデアル、御承知ノ通臺灣ノ港カラシテ十ノトノ船ヲ殆ト半日スルト日本ハ常備艦隊ヲ入レルニ足ル大キナ港デ——沿

岸ニ達スル、即チ福建省ノ沿岸デゴザイマス、此福建省ノ沿岸ハ文章デ云フナラバ、即チ一葉帶水ヲ隔テタ極ク近イ所ニ一ノ此大陸ノ沿岸ガ連綿トシテ居ルノデゴザイマスガ、此大陸ノ沿岸ト臺灣トノ關係ト云フモノハ、全ク輔齒ト云フヨリ、モソツト親密ナ關係ヲ持ッテ居ル次第デゴザイマシテ、ソレデ臺灣ノ治安ト云フモノハ懸ッテ沿岸ノ始末ニアル、沿岸ノ措置如何ニ依ッテ臺灣ノ治安ハ一沈一浮シテ居ル始末デアアル、ソレダカラ是ハ數年前マデハ御承知ノ通臺灣ハ福建省ノ一部デアッタノデアル、近頃臺灣ガ臺灣省ト云フ一省ニナッタ位デアッテ、臺灣ノコト、云フモノハ總テ福建省ニ依ッテ支配サレテ居ル、經濟ト云ヒ、兵馬ノコト、云ヒ、其他人情風俗宗教凡テ沿岸ト密接ノ關係ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスカラシテ、此臺灣ノ土匪ト云フモノニ就イテ是マデ非常ニ臺灣ガ妨害ヲ受ケテ居ルト云フコトハ、ソレヲ幾ラ攪ッテ見タカラト云ウテ、臺灣ニ居ルダケノ土匪ヲ襲殺ニシタ所ガ、臺灣ダケノ始末ヲドノ位立派ニ附ケテ見タ所ガ、沿岸ノ方ニ手ガ著ケテナケレバ、ドウジテモ根ヲ絶ヤシ葉ヲ枯ラスト云フコトハ到底出來ナイ始末ニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ此臺灣ニ完全ナル統治權ヲ布カウト云フニ就イテハ、沿岸ニ手ヲ著ケルコトガ一番最初デアッテ、此最初ニ沿岸ノ福建ノ方カラシテ攪ッテ參ラナケレバ、臺灣ダケ攪フト云フコトハ到底出來ナイノデアル、此根據地ト云フモノハ、總テ此福建ノ方ニ持ッテ居ッテ、サウシテ出店ガ臺灣ニヤッテ來デ、アノ中デ行政ナリ其他ノ社會ヲ荒ラシテ居ル、或ハ豪亂サセテ居ルト云フ始末ニナッテ居ルノデゴザイマス、其根據地ト云フ福建ハ、ドウデアアルカト云フナラバ、申上ゲナクテモ宜イコトデゴザイマスガ、アスコハ元ト閩族ノ塊マリデアッテ其以來閩族ノ種ト書イテアッテ、頗ル強イ人種ノ居ル場所柄デアッテ、古ク云ハナイデモ江蘇省カラ起ッテ天下ヲ風靡シタ洪秀全ハ、福建省ヲ足場ニシテ南京ニ覇ヲ唱ヘルコトガ出來タノハ、アスコガ足掛リデアッタト云フコトハ、爭フベカラザル事實デアアル、近頃九龍會或ハ英雄會ト云フ秘密團體ノ根據地モ福建ニアルノデアル、近クバ廣東三合會ヨリ或ハ遠クハ湖南ニアル哥老會ト氣脈ヲ通シテ南清分立ノ機關トナッテ居ルガ如キ、ソレニ從ッテアスコニハ、ドチラニモ附カヌ種類ガ澤山居ルト云フコトハ、實ニ福建ノ一ツノ名物デゴザイマス、竝ニ近頃ハ廣東ノ市街ヲ距ル僅ノ所ニ臺灣破レテ始テ漸ク臺灣ヲ去ッタアノ劉永福ガ旗下ノ黑旗兵ノ幾部ヲ以テ廣東ノ隅ニ據ッテ居ル、是等ト福建省ノ間ニ秘密ノ聯絡ガアッテ、サウシテ其枝葉ト云フモノガ臺灣ニ向ッテ始終匪徒ナリ彈藥ナリ其他總テノモノヲ運ビツ、アルノデゴザイマス、ソレデ事實ノ證據トシテ現レタコト、云フモノハ、始終此「ジャンク」船デヤッテ來ル、匪徒ト彈藥ト金ト云フ此三ツノモノハ、決シテ臺灣自身デ得ラレノデナクシテ、沿岸カラ注入シテ居ルニ就イテハ公然ノ報告書ニゴザイマセウガ、現ニ六名ヲ差押ヘタ、昨年ノ半バ頃差押ヘタ船ノ中ニ、船ノ水底ニ箱ヲ釣シテ其箱ノ中ニ何百挺ト云フ武器ヲ隠シテ居タト云フコトハ、水上警察ノ差押ヘタ報告ニ出タコトガアリマス、此位ハ愚ナコト、日本ノ國旗ヲ掲ゲテ横行シテ居ル、旅行免狀ハ殆ト有名無實デアッテ、誰ニデモ日本ニ對スル旅行免狀ヲ與ヘル始末、ドクナ土匪デモ構ハヌ、ドン向フカラ渡ッテ來ルト云フ、斯ウ云フ始末ニナッテ居ル、近頃其例トシテ申上ゲルコトノ出來ルノハ、彼ノ昨年十二月ニ南部ヲ征討スルトキニ居タ討伐隊ノ中ニ葛城艦ガ陸戰隊ヲ上ゲテ戰ッタトキニ葛城艦長ノ報告ニモ今度押

ハタ土匪ハ、悉ク廣東語ナリ、福建語ヲ使ッテ居ル土匪デ、臺灣ノ土人デハナ
イト云フ報告ガアル、尤サウデアラウト考ヘル、少シヒドイ騒ガ起ルトキハ
何時デモ福建ノ方カラ渡ッテ來タ舶來人種ノ中ニ本當ノ騒ギノ根柢ガアルノ
デゴザイマス、斯ノ如クナッテ居ル此福建ハ、免ニ角臺灣ヲ措置スル前ニ一ツ
何トカ手ヲ掛ケテ往カナケレバナラヌコトデアラウト考ヘルノデアアル、ツレ
ニ就イテ近頃二ツノ會議ト云フモノガ福建省ニ起ッテ居ルノデアアル、ツレハ
即チ我國ガ、此福建ニ對シテ非分割ノ條約ヲ結ンダト云フコトハ、一昨年以
來世ニ隱レモナキ事實トシテ現レテ居ルノデアアル、是ニ就イテハ或ル名譽ア
ル所ノ政治家ガ、或公會ノ席デ云ハレタノデアアル、證文ニ消印ノナイ印紙ノ貼ッ
アルヤウナモノデアアルト云ハレタノデアアル、消印ガナケレバ此處デ消印ヲ
押シテ貰ヒタイ、印肉デイカナケレバ燒印デモ押シテ、此條約ヲ成立セシメナ
ケレバナラヌト云フ今日ノ始末ニナッテ居ルノデゴザイマス、此日本ガ非分
割ノ條約ヲシテ、サウシテ此福建省ニ向ッテ、日本ガ勢力ヲ持ッテ居ルト云
フ、其半バニ際シテ、之ニ向ッテ二ノ防害ナリ、即チ此權利ヲ侵害セラレタ
ルコトガ起ッテ居ル、其一ト云フモノハ何デアアルカト云フト、御承知ノ通此貫
橫鐵道ト云フノガ、亞米利加ガ敷掛ケテ居ル、此貫橫鐵道ヲ敷掛ケテ居ル
ハ、漢口鎮カラ廣東ヲ經テ漢省城ニ至ル間、一ノ鐵道デゴザイマス、サウシテ
其枝葉ヲ沿岸ニ達スルノ枝ヲ敷クコトヲ許スコトニナッテ居ルモ、其沿岸ニ
敷クコト云フノハ、二本ノ「ライン」ヲ敷イテ、ツレカラ何レノ角度デモ——銳角
デモ鈍角デモ、其筋ヲ引イテ見ルト、恰モ沿岸ニ達スル線ト云フモノハ、福建
省デアアル、此福建省ノ管轄ニ此鐵道ガ敷カレルト云フコトニナレバデス、吾
ガ持ッテ居ル所ノ此外分割權ト云フモノハ、既ニ蹂躪セラレタモノデアアルト云
ハナケレバナラヌ、此外分割權ガ蹂躪セラレテ居ルト云フ議論ニ對シテ、或
ル人ノ云フニハ、是ハ一個人ガ持ッテ居ルノデアアツテ、決シテ亞米利加政府ガ
ヤツタノデナイカラ、差支ナイト云フカ知レマセヌガ、ツレハ少シク間違ッテ
居ルト思フ、是ハ臺灣ノ不動產ト云フモノハ、此鐵道ヲ敷クコト云フコトハ、縱
令四十年デアラウトモ、三十年ノ年限デアラウトモ、苟モ此不動產ノ借地權ヲ
得ルト云フコトニナレバ、九十九年マデノ借地權ト云フモノガ、不動產法トシ
テ許シテ居ルノデアアリマスカラ、殆ド九十九年ノ借地權ト云フモノハ、是ハ
一方ガ借地ト云フ名前デアアルケレドモ、事實ハ所有權ヲ有シテ居ルノデアアル、
斯ノ如キモノヲ公然ト敷カレタ以上ハ、日本ト云フモノハ、此非分割ノ條約
ト云フモノハ、マルデ空文ニナッテシマハナケレバナラヌノデアアル、ツレカ
ラモウ一ツノ事件ハ何デアアルカト云フト、是ニ持ッテ往ッテ、亞米利加ガ此
フ非リッピンニ對シテ、太平洋ノ航海ヲ保護スル上カラシテ、一步延バシテ
廈門ヘ持ッテ往ッテ太平洋航路ノ終點ヲ置イテ、サウシテアスコデ石炭ノ貯
藏所ヲ置イテ、ツレヲ支那政府カラ借りテ、アスコデ航路ノ最終點トスル
ト云フ噂ガ、今日アルノデアアル、是ハ此亞米利加ノ「アントチヤイナ、デヘロ
メント、コンパニー」ノ汽船會社ト互ニ聯絡ヲ通シテ置イテ、サウシテ一ハ鐵
道ヲ以テ支那ヲ貫キ、一ハ太平洋ノ沿岸ノ航路權ヲ握ルシヤウト云フ今日ノ
始末ニナルト云フ噂ガアルノデスガ、是ハ私ハ當局者ニ向ッテ説明ヲ求メタイ
ノハ、事實果シテ斯ノ如キコトガ行レツ、アルノデアアルカドウデアアルカ、斯ノ
如キコトガ行レテ居ルスラモ、默ッテ居ルニ至ッテハ、此沿岸ノ取締ト云フモノ
ハ、マルデ附カナイ始末ニナッテ來ハセナイカト思フ、ツレカラ此二ツノコト

ト云フモノハ、當局者ノ御答デ以テ、決シテサウ云フコトハ當時行レテ居ナイ
ノデアアルト云フ御話ガアルナラバ、ツレデ消エルカモ知レマセヌガ、モウ一
ツ消エルコトノ出來ナイコトガ、最後ニ殘ッテ居ルノデアアル、ツレハ何デア
ルカト云フト、一ツノ例ヲ申上ゲマスガ、彼ノ北方ニアアル所ノ薩哈噠ハ、明
治初年ノ頃ニ於テハ、日本政府ガ露西亞ニ向ッテ交付シタ土地デアリマスガ、
アスコニ向ッテ日本ノ松前アタリカラ、壯丁ヲ送り兵器ヲ送り彈藥ヲ送ッテ、
アスコデ騒ガ起ッタト云フ場合ヲ假定シタナラバ、露西亞政府ハ日本ニ向ッ
テ默ッテ居ルデアアラウカ、忍ラクバ私ハ默ッテ居ラヌト思フノデアアリマス、
モウ一ツ例ヲ以テ申上ゲマスレバ、先ヅベリリノ海峽カラシテ西部ノ亞米
利加ノ領土ニ向ッテ、日本ガ兵糧ヲ送り金ヲ送ッテ、サウシテアスコデ亂
暴ヲシ始メタ場合ニ、亞米利加政府或ハ加拿陀ノ英吉利政府カラ、日本
ニ向ッテ何ノ交渉モセズシテ見テ居ルデアアラウカ、モウ一ツ手短ニ裏カラ
云フテ見タナラバ、アノ支那ノ秘密會ト日本ノ壯丁ト相組ンデ、日本カラ
兵糧ナリ武器杯ヲ送ッテ、支那内地ヲ騷ガシタト云フ場合ニ於テ、支那
政府ガ知ラヌ顔ヲシテ、内ノ不仕合デアアルト云ッテ諦メテ默ッテ
居ルモノデアアラウカ、ドウデアアラウカト云フノデアアルガ、忍ラクハツレ
ヲ支那政府ト雖モ、默ッテ居ラヌト思フ、苟モ臺灣ニ日本ノ統治權ガ移ッタ以
上ハ——日本ノ領土トナッテ日本ニ交付サレテ、日本ノ所有地トナッタ
臺灣ニ向ッテ、向フカラワイノ土匪ヲ輸入セラレルト云フコトハ、向フ
ノ政府ガ行政統治ノ方法ヲ以テ取押ヘルコトガ出來ヌト云フナラバ、日本ハ
是ニ就イテ一ツ考ヲ起サナケレバナラヌノデアアル、是ガ唯日本ノ損害ダケデ
アレバ、默ッテ居ルモノ宜イガ、默ッテ泣寝入ニ濟マスコトノ出來ヌト云フ
コトハ、先刻申上ゲタ通、此土匪ノコトニ就イテハ、異人種ニ向ッテ向フ
デ殺戮ヲ行フト云フ宗教上ノ觀念ト、竝ニ宗教ヲ妨害スルト云フ點ニ就イテ、
香港ノ新聞等ガ口ヲ極メテ攻撃シテ居ルノデアアリマスカラ、此際ハ日本ガ支
那ノ政府ニ向ッテ、十分談判ヲ開始スルノ材料ガアルト思フ、縱シ日本ガ我
慢ヲシテモ、ツレガタメニ外國人ニ向ッテ妨害ヲ與ヘテ、大變ヲ迷惑ヲ
掛ケルト云フ結果ニナッテ來ルノデアアリマスカラ、ドウシテモ此沿岸ノ取締
ト云フモノヲ支那政府ニ於テ十分附ケナケレバナラヌ義務ヲ持ッテ居ルノデ
アル、若シモ此義務ヲ果サナイ場合ニ於テハ、日本ガ代ッテデモ、此處分ト
云フモノハ附ケナケレバナラヌト云フ當時必要ニ迫ッテ居リハセヌカト私ハ
考ヘルノデアアル、ツレデ此沿岸ニ對スルコトニ就イテ、政府ノ當時ノ策治ト
云フモノハ、ドウ云フ方針ニ向ッテ進行スルノデアアラウカト云フコトヲ聞キ
タイノデアアル、第二番ハ航路ノコトデゴザイマスガ、航路ノコトニ就キマシ
テハ、先日豫算ガ通過シマシテ七十四萬——經常費ノ方ニ於テ拾八萬圓追
加ガゴザイマシテ、此航路ト云フモノ、經費ハ通過シテ居リマスガ、併ナガ
ラ此經費ヲバ、ドウ云フ風ニ使フノデアアラウカト云フコトガ、一ツノ問題デ
アル、ト云フモノハ今日此七十餘萬圓ノ經常費ト云フモノハ、郵船會社ト商
船會社ト二ツニ分ケテ取ラレル始末ニナッテ居ルノデスガ、其分ケテ保護ヲ
與ヘテ居リナガラ、ツレダケノ義務ヲ兩會社ガ盡シテ居ルカドウカト云ヘバ、
今日盡シテ居ラヌト云ハナケレバナラヌ、其金ヲ使フ途ニ於テ、航路ノ上ニ大變

ナ影響ヲ及スコトデアラウト思ヒマスカラ、私ハ伺ッテ置キタイノデアアルガ、郵船會社ニ對シテ保護ヲシテ居ルノハ、今日ドウ云フヤウナ義務ヲ負ハセテ居ルカト云ヘバ、一箇月ニ一回ナラ二回ト云フ、極ク僅ナ船ヲ以テ航海ヲサセツ、アルノデアアル、ソレガ今日此臺灣ニ通フニ神戶カラ船ガ出ル、二十餘艘ノ船ガ通ツテ居ルノデアアル、サウシテ其船ハ悉ク神戶ヲ起點トシテ居ッテ一艘モ横濱ヲ起點トシテ航海ヲシテ居ル所ノ船ハナイデゴザイマス、是ハ今日カラ臺灣ノ發達ノ上ニ就イテ、商業其他ノ點ニ就イテ、東京カラ品物ヲ送ルノニ、一旦神戶ニ出シテソレマデノ高イ鐵道ノ賃錢ヲ拂ッテ、ソレカラ之ヲ船ニ積ムト云フコトハ、誠ニ商人ニ取ッテハ不便ヲ感ズルノデアリマス、若シ横濱ヲ起點トスルナラバ、運賃モ安ク、其他萬般大變便利ヲ與フルコトニナルノデアリマス、然ルニ保護シテ居ル船ガ、悉ク神戶カラ出ナケレバナラヌト云フ理由ハナイノデアアラウト思フ、何故ニ一艘デモ横濱ヲ起點トシナイノデアリマス、郵船會社ノ航路ノ保護ノ上ニ就イテ伺ヒタイノハ、此コトデアアル、ソレカラ商船會社ノ航路ノ保護ノ上ニ就イテ伺ヒタイノハ、彼ノ沿岸航路デアアル、沿岸航路ト云フコトハ、勿論イツモ風波ノ荒イ所デ、サウ必ズ立派ニ定期通ニ往ケヌト云フコトハ、吾人モ認メテ居ルノデスケレドモ、併ナガラ沿岸航海ヲスル船ノ船長ト云フモノハ、僅ナ用事ニ托シテ風波ト云フコトヲ口實ニシテ、沿岸ノ定期航路ノ義務ト云フモノヲ始終怠ラシテ居ルト云フコトガ事實デアアル、ソレガタメニ各臺灣沿岸ノ宜蘭ノ如キ港ニ接シタ田舎デハ、此定期船ガ來ナイガタメニ、空相場ガ行レテ居ルト云フ位ノ始末デアアル、米ノ亂高下ト云フモノガ始終アルノデアアル、之ガ定期ガアリマスレバ、輸入ガアリマスガ、定期ガナイト品物ノ來ルノガ分ラヌカラ、來ルデアラウト云フコトヲ當テニシ、或ハ來ナイデアアラウト云フコトヲ當テニシテ、殆ド空相場ガ行レテ居ルト云フ始末デ、定期トハ名バカリデ、代用スル船ガアルガ如キ有様デアアル、是デモ郵船會社商船會社ハ七十餘萬圓ノ保護ヲ與フルト云フコトデアアル、此運賃ノ高イコトハ驚クベキ程ノモノデアアル、此沿岸航路ハ下等デ人間一人ヲ一日船ニ養フテ居ルノガ七圓餘ヲ要スルツト云フ始末デアアル、先ヅ是ハ經常部ノ方デゴザイマスガ、私ガ殊ニ御尋シタイノハ、十八萬圓本年増加シタ保護金ノコトデアアル、是ハ即チ私ガ先刻述べタ沿岸ニ就イテ、大變向フノ對岸ノコトニ就イテ親密ナ關係ヲ持ッテ居ルコトデアリマス、昨今ハ此航海ノ權利ハ外國人ニ占メラレテ居ルノデアアル、臺灣トサウシテ大陸諸洲トノ間ノ航海權ハ、外國人ガ占メテ居ル是ハ「ドグラス」ト云フ會社ガ年來ヤッテ居ル、此「ドグラス」ニ商權ヲ握ラレテ居ッテ、日本ハ手ヲ附ケルコトガ出來ナイト云フ始末デアアル、日本デ北清社ト云フ會社ヲ立ッテ、總督府ニ於テモ幾ラカ保護ヲシタト云フ噂ガアッテ、二三箇月ヤッタ所ガ、潰レテシマッタ、ソレハ耻ト不名譽トヲ殘シテ終ッテ告ゲ、今日ハ「ドグラス」會社ノ專有ニナツテ居ル、所デ十八萬圓ノ保護ヲ出シタナラバ、來年度カラ即チ本年度カラ此航路權ヲ日本ノ手デ握有ガ出來ルカドウデアラウカ、是ガ聞キタイノデアアル、是ニ就イテ私ハ意見ヲ附シテ置キマスガ、到底是ハ出來ルコトデナイ、「ドグラス」ガ持ッテ居ル船ハ二艘デゴザイマスガ、此三艘ハ特別ニ製造サレテアッテ、此一艘ヲ買フタモ十八萬圓位デハ到底買フコトハ出來ナイノデアアル、是ハ政府ガ若シヤルトスルナラバ、政府ハ何レノ會社ニ向ッテ契約ヲ結ンデヤルカ知ラヌガ、日本ニ於テ此對岸ト臺灣トノ間

ノ航路ニ充テ、適當ナダケノ船ハ、一艘モナイト言ッテ宜シイ、ナゼ一艘モナイカ、是ハ特別ノ製造法ヲ要スル、十二呎或ハ十四呎ヲ幅トシテ、大キサガ七百噸位ヲ限リマシタ船ガナケレバ、到底此用ヲ辨ズルコトハ出來ヌ、ナゼナラバ、淡水ノ淺瀬ヲ乘越ヘテ、淡水川ニ這入ッテ來ルカラ、吃水ガ最モ淺クナケレバナラヌ、又吃水ガ淺イカラト云ッテ船ガ小サクテハ、何ヲ言フニモ支那海ノ真中ヲ通行スルノデアリマス、餘リ小サクテモイカヌ、日本ニ十三呎ノ船ハ澤山アラウ、又七百噸ノ船モ澤山アルニ相違アルマイ、併ナガラ十三呎デ七百噸ヲ兼ネタ船ト云フノハ澤山ナイ、然ルニ十八萬圓ノ保護ヲ與ヘテ、本年カラ誰ニヤラセルノデアアルカ、「ドグラス」會社ノ航路ヲ買收スルカ、ナカク「百萬圓」ヲコラデハ出來ヌノデアアル、船ヲ買フダケデモ大變デアアル、郵船會社或ハ商船會社ニ是ダケノ金ヲヤッテ競争シテ勝ッ見込ガアルカナイカ、之ヲ伺ヒタイノデアアル、又航路保護ニ就イテ言フナラバ、保護ヲシテ商船會社ニ金ヲアルマデニハ、爰ニ「ジャンク」船ノ取締ヲ能クシサヘスレバ、隨分商人ハ保護ガナクテモヤルト云フ者ガアルノデアアル、今日ノ多クノ貨物ハ決シテ汽船ニ依ッテ運バル、モノデハナイ、悉ク不完全ナル「ジャンク」船ニ依ッテ、或ハ密航ニ依ッテ、或ハ密輸出入ニ依ッテ、始終品物ガ往復シテ居ルノデアアル、之ヲサヘ嚴格ニ取締リサヘスレバ、ソレダケノ貨物ハ適當ノ運賃ヲ拂ッテ、サウシテ運送シナケレバナラヌト云フ道筋サヘ立ツナラバ、無理ニ金ヲ高ク出シテ、保護ヲスルト云フ必要ハナイカラ此「ジャンク」船ノ取締ニ對シテ政府ハ將來ドウ云フ道筋ヲ取ルカ、若シ是ガ今ノ儘ニ捨置カル、ナラバ、今申ス如ク土匪ハドンク旗ヲ船端ニ伏セ、鐵砲ヲ船底ニ隠クシ、人間ハ水夫ニ姿ヲ變ヘテ來ルト云フヤウナ風デ、自由ニ往復ガ出來テ居ル、此「ジャンク」船ノ取締ガ出來ナイト、今一例ヲ引イテ申セバ、本年カラ何十萬ト云フ金ヲ出シテ鹽業專賣保護ト云フモノヲ置カリテ申セバ、是ガ「ジャンク」船ノ取締ガ出來ナケレバ、何ニモナラヌ、臺灣ノ鹽ヲ臺灣島デ採ヘルヨリモ、今日鹽稅ノ安イ泥鹽ヲ持ッテ來テ、淡水デ安イ船ニ載セテ内地ヘ運込シテ來ルカラ、臺灣内地デ造ルヨリモ價格ノ安イ物ガ澤山ニ始終運込マル、コトニナル阿片モサウデアアル、阿片ヲ法律ヲ以テ制限ヲシテ見タ所ガ、是モ矢張「ジャンク」船デ、甕一杯持ッテ來レバ、一ツノ村中デ一月ヤ二月吸フノ二十分デアアルカラ、ドンナニシテモ其位ナモノハ持ッテ來ル、若シ又亞片ノ收稅ノ上カラ見テモ、人種ノ衛生ノ上カラ言ッテモ、今日「ジャンク」船ノ取締ガ出來ナケレバ、總テ臺灣内地ノ法律ハ無効ニ屬シテシマフノデアアル、故ニ私ハ「ジャンク」船ニ對スル政府ノ意向ハドウデアアルカト云フコトヲ聞キタイノデアアル、ソレカラ第三ハ今日天下ニヤカマシイ問題タル土匪ノコトデアアル、土匪ノ現況ハ凡ソ新聞紙上ニ於テ諸君モ御承知デアアルカラ、複雜ニハ申シマセヌガ、所謂今日ハ第一第二第三ノ討伐ノ時代デ、討伐隊ハ今四方ニ派出セラレ、海軍ハ葛城ヲ以テ陸戰隊ヲ擧ゲテ戰ッテ居ルト云フノガ、今日ノ現況デアアル、サウ云フ始末デアアルガ、ソレデ此大將ト云フモノハ、ドウ云フ風ニシテ居ルカト云ヘバ、保生大帝ト云フ軍旗ヲ翻ヘシテ、ソレヲ持ッテ堂々ト立派ナ銃器ト、立派ナ武器ヲ持ッテ、殆ド支那ノ戰爭ノ當時ヨリ完全シタル兵式操練ノ上ニ成立ッタ軍隊ヲ以テ戰ッテ居ル、而シテ其害ハドウカト云フト、之ヲ申上ゲルダケデモ、一日ノ演說ノ材料ニ

ナル位ノコトデアツテ、餘程總督府デモヤカマシクナイト云フ方ニ向ツテ、新開杯ニ書カセテ居ルガ、ソレニモ拘ラズ澤山事實ガ現レテ居ル、其中デ例ヲ取ツテ御話スルナラバ、一番新シイノガ此四五日前ニ起ツタ事實デ、之ガ一番新シイ、ソレハ臺北ト申スト、御承知ノ通臺灣ニ於ケル東京デアル、其臺灣ノ門ノ側ニ火葬場ガアツテ、ソコノ中ニ居ツタ日本人數名ガ殺戮セラレテ、誰ガ殺シタカ、ソレガ分ラヌト云フヤウナ事實ガアル、之ヲ強盜ノ所爲デアルト云フコトナラバ、強盜土匪ノ區別如何ト云フコトヲ私ハ聞カナケレバナラヌ、矢張是モ土匪デアアルニ相違ナイ、是モ保生大帝ト云フ旗ヲ立テ、戰フ所ノ箇大獅ノ部下杯ガヤルノデ、此節東京ノ銀座トモ云フベキ艦艇ト云フ市中ニ於テ二百三百ノ軍服ヲ誂ヘタ、ソレヲ近日警察署ニ押ヘラレタト云フ事實ガアル、江戸ノ真中ト云フベキ臺北ノ市中ニ於テ、今尙ホ土匪ノ跡ヲ絶タナイト云フ始末デアアルカラ、一里以上ヲ歩ムト云フニハ、吾々デモ鐵砲ヲ持ツテ往カナケレバナラナイ、又少シ横道ニ行クトキニハ、十町ノ間デモ憲兵ノ護衛ガナケレバ、市中ヲ離レルコトガ出來ヌト云フ事實デアアル、此事實ニ附イテ悉ク申上ゲルト、暇ガ掛ルカラ、ソレダケデ御承知下サレバ宜シイ、昨年ノ下半年ニ於テ殺サレタノガ、巡查ヲ含ンデ居リマスガ、四千ニ附イテ五百餘名殺サレテ居ル、大抵之ヲ以テ推測ラル、ト云フ現況デアアル、此臺灣ノ土匪ト云フモノハ今始ツタノデナイ、昔鄭成功ガ臺灣ヲ取ツタ以來一浮一沈ヲ始終絶間ガナイ、中頃朱一貴林爽文ノ謀叛ガアツテ今日マデ推及シテ居ルガ、日本カラ行ク前ニアツタカト言ヘバ、近頃ハナカッタガ、日本ノ初デノ總督樺山サンガ參ツタトキニドウカト云フト、其時分ハ亂世ノ時代ダカラ、土匪ト云フヨリハ寧ロ敵ト云フ方ガ宜シイノデアアル、而シテ何時ガ一番平穩ナツタ時デアツタカト云フト、先ツ樺山總督ガ去ラル當時ガ少シク平穩デアツタ時分デアアルガ、吾々デモ隨分三里トカ五里位ノ旅ハ「ピストル」モナイデ歩き、女子子供デモ歩ケタノデアアル、丁度乃木總督ノ來ル時分、樺山總督ガ去ラル時分ニ、少シク平穩デアツタ土匪ヲバ、大分煽テ居ル時分來テカラ、此臺灣ニ向ツテ今マデ鎮ンデ居ツタ土匪ヲバ、大分煽テ居ル時分傾ガアル政略ヲ取ツタ、乃木ノ政略ヲヤツタノガ、所謂種ヲ時イタ今日傾ニナツテ、今日ハツレガ花ガ咲キ懸ツテ居ルツ云フヤウナ工合ニナツテ居ル、ダカラ今日ノ土匪ハ、必シモ今日ノ日本當局者ヲ攻メルツ云フ譯ニハ往カナシ、前當局者當時ニ種ヲ時イテ居ルツ云フコトハ、明ナ事實デアアル、ソレガ今日花ガ咲キ掛ケテ居ルニ就イテハ、仇花ヲ取除ケレバ宜イガ、ソレニ向ツテ肥ヲスル傾ガ、アリハシナイカト云フコトヲ恐レテ、此質問ヲ提出シタノデアアル、種ハ乃木ノ時代ニ蒔イタ、先ヅ是ダケ重ナコトガゴザイマスルガ、數エテ見マシテ四五ツゴザイマスル、先ヅ舶來ノ人、臺灣ニ對シテ、舶來ノ人ヲバ、高ク用ヒタト云フコトガ、即チ臺灣土人ノ感情ヲ大ニ破ツタ、其次ハ商人ヲ高クシテ百姓ヲ疎カニ見タト云フコトガ、第二番デゴザイマス、第三番ハ族制ヲ好破ツタト云フコト、ソレカラ日本ノ官吏ノ專横ト云フコト、其次ガ徵稅ノ方法ヲ誤ツタト云フコト、不動產ノ始末ヲ誤ツタト云フコト、其次ニハ土人ヲ虐待シタト云フコト、コンナヤウナコトガ重ナ原因トナツテ、臺灣ニハ土匪ガ起ツタ、ソレヲバ今日防ガナケレバナラヌノニ、今日ノ總督ガ是ニ向ツテ、油ニ水ヲ差スヤウニナツテハ居ルマイカト思フカラ、私ガ項目ヲ舉ゲテ質問スルノデアアル、今日ノ兒玉總督ノ時代ニナツテ、矢張徵稅

ガ引續イテ盛ンデアツテ、法令ガ益々雨下シテ、日ニニツ三ツモ出ルノデアアル、是ガ法治國ノ人民デナイ、譯ノ分ラナイ者ニ向ツテ、完全ナ日本デ拵ヘタ法律ガ、ドン／＼出テ來ル譯デアアルカラ、マルデ木ニ縁ツテ魚ヲ求メルヤウナ始末ニナツテ居ル、是等ガ土匪ノ出來タ元ニナツテ居ル、以上ノヤウナ譯柄デアツテ、第一ニ舶來人ヲ高ク用ヒタ、此舶來人ト云フノハ、臺灣デ云ヘバドウデアアルカト云フニ、先刻申シタ如ク、臺灣ノ土人デナイ、或ハ福建カラ、或ハ北京カラ、四百餘州カラ來ル寄留人デアアル、是等ハ前ニ日本ガ占領シナイ當時ハ、コンナ者ハ多ク斥ケテ用ヒナカッタケレドモ、日本ノ軍隊ハ言葉ガ分ラヌ、分ル者ハ今ノ寄留人ノヤツニハ、北京語ノ分ルヤツガアリ、南京語ノ分ルヤツモアルカラ、日本ノ通譯ト爲ル、是等ハ多ク商人デアアルカラ、人ノ氣ヲ取ルコトハ、百姓ヨリハ甘イニ違ヒナイ、斯ウ云フ連中ガ、一番政府部内ニ這入り込ンデ來タ、此這入り込ンデ來タヤツガ段々高ク用ヒラレテ來ルヤウニナツテ、臺灣ニ住ンデ居ル所ノ紳士トモ云ハレル人、或ハ村ノ五人組ノ頭ノヤウナ者ハ、常ニ下ニ踏附ケラレテ、日本ガ占領シナイ當時ニ於テハ、誠ニ下賤ナ、モウ幾多ノ如ク僱人ノ如ク見テ居ツタ漢東人トカ、或ハ南京アタリカラ來ルサライ者ヲバ高ク用ヒテ、而モ遂ニ裁判ノ通辯ニ使フト云フコトニナツテ來タ所ガ、裁判其他行政上ノ通辯ニ通フトコトニナルト、自分ガ何ヲ言ツテモ其通辯ガ旨イコトヲ云フカラ、其通辯ニハドウシテモツレダケノ心附ケナリ敬禮ナリ、總テ盡セルダケノコトハシナケレバナラヌコトニナツテ、昨日マデ幾多カ非人ノヤウニ思ツテ居タ舶來人ニ對シテ、頭ヲ下ゲナケレバナラヌ始末ニナツテ來タト云フノガ、非常ニ土人ノ感情ヲ害シテ、玆ニ日本ニ向ツテ敵愾心ヲ起スヤウナ原因ヲ爲シテ居ル、是ガ一ツ、ソレカラ其次ニ能ク似タコトデアアルガ、商人ヲ好遇スル政略ヲ執ツタ、此商人ヲ好遇スルツ云フコトハドウ云フ始末カト云ヘバ、臺灣ノ全體ハ農民ニ依ツテ出來上ツテ居ルカラ、今申ス通、商人ガ、皆所謂總督府ノ旗下近クニ居ツテ、始終日本人ハ始終好遇サレシ、又金ヲ隨分撒クコトモアルカラシテ、ソレガタノメ商人ハ始終好遇サレシ、總督府ノ宴會トカ、或ハ軍隊ニ何カアツテモ、始終出入ル者ハ商人デ、又何事ヲ命ズルニモ、商人ニ命ズルト云フヤウニ、商人ヲ好遇スルカラ、臺灣ノ土臺ヲ作ツテ居ル農民ニ向ツテハ、誠ニ總督府ガ冷淡ナ方針ヲ執ツタト云フコトガ、農民ノ感情ヲ害シタノデアアル、而シテ土匪ノ多クハ農民ヲ以テ組織シテ居ルツ云フ事實デアアル、是ニ就イテハ總督府モ少シク氣ガ附イテ、近頃ハ縣廳々々ニ參事ヲ置カレタ、此參事ガ即チ土人ノ全部ト、日本ノ行政官トノ間ノ橋渡シニナツテ、又是ガ幾ラカ施政ノ上ニ喙ヲ容レルヤウナコトガ出來ルガ、其參事モ多クハ商人體ノ者ヲ用ヒルト、私ハ信ズルノデアアル、是カラモ尙ホ進ンデ總督府ノ當局者ハ、商人ヲ好遇シテ農民ヲ虐待スルツ云フ方針ニ出ルカ、ドウデアアルカト云フコトヲ私ハ聞キタイノデアアル（恆松隆慶君）十箇條ノ質問中今何箇條ニナツテ居リマスカト呼フ、是ハ三箇條デゴザイマス、ソレカラモ其族制ヲ破ルト云フコトガ、大變土匪ノ起ル根元ニナツテ居ル、此族制ヲ破ルト云フコトハ、ドウカト云フト、是マデ申上ゲマシタ、此臺灣ニハ保甲制ト云フモノガ行レテ居ツテ、五人組或ハ十人組ヲ以テ村ヲ組織シテ、完全ナモノニナツテ居タ、ソレデ當時乃木ノトキノ政略トシテ、日本ノ人ヲ以テ總理ト云フモノヲ置イタ、事情ノ分ラヌ者ヲ以テ……此内地ノ人デハナイ、矢張臺灣ノ土人同

士ガ、舶來ノ人ヲ以テ、總理ヲ多ク置イタト云フコトニナツテ、此保甲制ノ五人組モ、スッパリ破レテシマツテ、今日ニ至ツテハ何處ノ者ガ何ヲスルカ、何處ノ人間ガ土匪ノ仲間ニ這入ツテ居ルカト云フコトハ、保甲制ガ完全ニ行レテ居ルベキ、其村長ノ通知ニ依ツテ分ルガ、其村長ノ組織ガ消エテ居ルカラ、唯ガドウシタカ、其村ノ住人スラ分ラヌト云フヤウナ始末ニナツテ居ル、ケレドモ、是ニ就イテハ總理府モ近頃保甲制ヲ持ヘテ居ルカラシテ、幾ラカ目ニ見ル如キ形迹ヲ現スカモ知ラヌガ、當時ハマダ此保甲制ノ回復ハ行レテ居ラヌ、總督ハ今後ドウ云フ始末ヲナサルカ聞キタイノデアアル、ツレカラ其官吏ノ横柄、是ニ就イテ先刻私ガ演壇ニ登ル前、部屋ニ居タツキニ、或ル有名ナル議員カラ、私ニ御話ガアツタノニ、其御方ノ所ハ參ツタ十二月附ノ私信ノ中ニ或ル田舎ニ於テ、所ハ知リタイナラ調ベテモ宜イト云フ話デアアル、何十人何百人ト云フ者ヲ一堂ノ内ニ入レテ置イテ、ツレデ一齊射撃デアアル、新聞ニハ載ツテ居ナイ、併シヒドイト云フ話デアツタ、斯ウ云フコトハ始テ聞ケバ驚クカ知ラヌガ、臺灣デハ朝飯前デアアル、マダノソノコトデアハナイ、實ニ今日尙ホ良民ト土匪トノ區別ガ附カヌデ、打殺シテ居ルコトハ、先達テ水野實族院議員カラシテ尋ネラレタトキ、當局者ノ答モアツタガ、當時ハ如何デアアルカ、質問致シマス、當時雖モ必ズナイトハ答ヘルコトガ出來ナイト云レタガ、ツレハ事實デアラウト思ヒマス、今日ノミナラズ昔カラ同ジコトデアツテ良民ト土匪トノ區別ヲ、マルデ無茶苦茶ニシテ撃殺シテ居ル、實ニ驚クベキ始末デアラウト思ヒマス、或ハ新聞杯ニ書イテアル所デアハ、臺南ニ於テハ市中ノ人デスラ撃殺シタ者ハ二十二名アルト云フコトデアアル、實ニ言語ニ絶エタル始末デアラウト考ヘル、斯ルコトカラシテ唯殺スノミナラズデス、今日デハ土匪ノ間ニ於テ官吏ノ横暴ト云フハ、チト何デゴザイマスルガ、行政部ト或ハ司法部トノ衝突ガ起ツタリ、或ハ又行政部管下ニ於テモ辨務署ト云フモノガアリ、第二課ニ警察署ガ置イテアルカラシテ、此辨務署ト警察署員ノ間ニ衝突ガ起ツテ、土匪ハ何レヘ往ツテ命令ヲ聞イテ宜カラウカ、命令ノ歸一ヲ缺イテ居ル、甚シキハ憲兵ト警察官トノ間ガ衝突シテ、憲兵ノ所ヘ訴ヘルト警察官ハ相手ニナラナイ、警察署ヘ云ウテ往クト憲兵ガ相手ニナラナイト云フ、斯ウ云フ風ニナツテ、人民ガ告訴シタリ或ハ保護ヲ頼ミニ往クニハ、ドチラノ方向ニ向ツテ進行シテ宜イカ分ラナイヤウナ始末ニナツテ居ル、是ハ何時デモ官制ノ立テ方ガ惡イカラ、ツレデ衝突ガ毎度起ツテ居ルカラ、之ヲ今日ニ於テ救済シテ貫ハナケレバナラヌ、ツレカラ近頃新聞杯デ褒メテ居ルコトハ、現總督ガ養老會ト云フモノヲ拵ヘテツレデ大變歡心ヲ買ツタト云フコトデアアル、即チ年寄ヲ好遇スルト云フコトデアアル、コンナコトハ小サイコトデアアルケレドモ、向フノ方ノ機關新聞杯ハ、之ニ就イテ大變仰山ニ書立テ、居ルケレドモ、是ハ何ノコトデアモナイ、老人ヲ養應シテ歡心ヲ得ル政略デアアル、年寄ハ六十八ニナル年寄ハ如何ナル山奥デモ浦デモ必ズ臺北ノ市中ハ伴レテ來テ總督閣下カラ養應サレルト云フノデ、無理ヤリニ引ツ張出シタカラ、隨分迷惑シテ居ル、往復旅費ヲ幾ラカ與ヘテ居ルカハ知ラナイガ、現ニ私ガ逢フタ老人ガアルガ、來ルダケノ旅費ヲ持ッテ來テ、歸ルコトガ出來ナイト云ツテ、グス／＼泣出シテ居ル始末デアアル、養老會ト云フモノハ大變好イ成績ガアツタ如ク吹聴サレテ居ルケレドモ、實

際ヲ見ルト老人様ノ遠方カラ來タ者ハ、迷惑ヲ感ジタ始末デアアル、是モ役人ト云フ權利ヲ以テ引出シテ養老シタノデアナイ、無理ニ束縛シテヒツコズデ、來タ始末デアアル、其次ニ背信ノ始末デアアル、是ハ最モ日本人ノ信用ヲ失フコトデアアルカラ、大イニ憂ヘネバナラヌ、土匪ノ降ツテ來タ者ヲ殺ス、北山ノ林清秀ハ現ニ日本ヘ降ツテ來テ居ルノニ遠ニ之ヲ殺シテシマツタカラ、北山ノ一帯ノ亂ヲ來シタト云フコトヲ今日傳ヘラレテアル、已ニ降ツテ來タ者ヲ殺スト云フニ至ツテハ、マルデ日本ノ信用ト云フモノヲメチャクチャニスルコトハネバナラヌ、又降ツタ者ヲバ撃殺スト云フ如キコトヲ致シテ、一方ヲ見ルト實ニオカシメ、刑事デ以テ死刑ノ宣告ヲ受ケタ所ノ土匪ガ破獄シテ逃ゲテ臺中ニ在ツテ土匪ノ名簿ノ中ニ載ツテ居ルニ拘ラズ總督ガ赦免ヲ與ヘテ居ル、六十三號ノ時ニ貴族院デ議論ガ出テ全體大權ヲ侵害シタモノデアアルト云フ議論モアツタガ、六十三號デ許サレテアルニシテモ、一時日本ノ刑法デ以テ斷然死刑ト斷罪シタ者ヲ漫ニ許ス如キハ、信用ト云フモノヲ大變失フコトニナツテ來ル、マア此位デ官吏ノ非常ニ大ナル結果ヲ來シテ居ル事實人ノ虐待、是ガ又土匪ノ原因ニ就イテハ非常ニ大ナル結果ヲ來シテ居ル事實デアアル、土匪ト云フモノハ婦人ヲ尊敬スル、尊敬スルヨリハ隠ス始末デアアル、ツレヲ官吏ガ良家ノ處女ヲ引出シテ酒ノ酌ヲサセルトカ、或ハ甚シキニナルト、此壇上デ申スモ如何ダガ、醜業女子ニ對シテ檢徽ノコトヲ遣ツタト云フコトカラ、實ニ人倫ヲ破壞シタト云フコトガアル、娼妓杯ノ驅徽ヲスルト云フコトカラ、眞家ノ處女ヲ捕ヘテ實ニ人倫ヲ破壞シタト云フコトハ、今日消スコトノ出來ナイ一大失態デアアル、ツレ等ヲ聽イタナラバ見タナラバ親族ノ中ノ彼レ土匪ハ生命ヲ捨テ、モ構ハナイ、日本ノ行政部ニ向ツテ反抗ヲ企テルコトヲ煽動スル、是ハ必シモ無理デハナイト考ヘル、斯ノ如キ事ガ前ノデドウカト云フト、法令兩下ト云フコトガ段々行レテ、急ニ法律ガ大變ニナツタ法治國ノ東京ナラマダ宜イガ、未ダ臺灣ノ土匪ハ「イロハ」ノイノ字モ知ラナイ生番蕃番ニ向ツテ、日本ノ法律ヲ雨下スルコトハ、實行ガ出來ヌノミナラズ、彼等ハ必ズ迷ツテシマツテ、ドウシテ宜イカ自分ノ去就ヲ定メルコトガ出來ナイ、ツレハ六十三號ノ法律ノ際ニ質問シヤウト考ヘマスカラ、其時ニシテ置キマセウ、ツレカラ世ノ中デ云フ買収、ケツト云フト語辭ガアルカモ知レナイガ、即チ價金ヲ遣ハスト云フナラバ誠ニ奇麗デゴザイマスルガ、實際ハ買収ニ成ツテ居ルト云フコトデアゴザイマス、此コトハ詳シク申サナイデモ貴族院デ御話ニナツテ居ルカラ申シマセヌガ、此起リト云フモノハドウデアアルカト云フナラバ、茲ニ御出ニナル二百十六番議員デゴザイマスルガ、最初嘉義カ臺中デゴザイマシタカヘ御出デニ成ツテ白旗ヲ立テ、往ツテ降伏ト云ツテ嘉義ノ大將ヲ降シタト云フノガ降伏ノ初デゴザイマスガ、云ハバ頭下ゲテ金ヲ遣フテ日本ガ買ツタノガ一番最初デアアル、ツレカラ引續イテ今日政略トシテ行レテ居ルガ、實際ハドウデアアルカト云フト、簡義ト云フモノハ其當時成ル程歸順ニ就イタト云フコトハ實地デゴザイマシタラウガ、簡義ガ歸順ニ就イタナラバ其子分ノ總テガ歸順ニ就イタカドウカ伺ヒタイ、第一番ノ子分ハ今日南ノ方ノ一番ノ大將ニナツテ居ル柯鐵ト云フヤツデ、是ハ簡義ノ弟分デ一番強イヤツダガ、簡義ガ降ツタト云ツテ幾ラカ誇ツテ居ラレルニ拘ラズ、其部下ノ兵ト云フモノハ悉ク、降ツテモ招安ニ就イテモ居ナイ、直チニ立ツテ旗ヲ舉ゲタト云フ始末デアアル、此コトニ就イテモ全體大將

ヲ降スト云フコトハ、彼等ノ政略上トシテ降ッテ來ル、其次ノ大將ヲ降セ
バ、又次ノ者ガ大將トシテ旗ヲ舉ゲルカラ、降伏ト云フコトハ實際デアルカ
ナイカ分ラナイ、ツレカラ陳秋菊鄭文流ト云フヤツハ北方デ強カッタガ、此
二人ヲ降シタト云フコトハ、總督府デ大出來ノ如ク吹聴サレテ居ルガ、此陳
秋菊ノ部下デ一番強イヤツガ簡大獅ト云フヤツデアル、此簡大獅ト云フ者ハ
ドウデアツタカト云フト歸順シナイ、今日北部デ保生大帝ト書イタ旗ヲ翻
シテ居ル、陳秋菊ガ降ッテモ其部下ノヤツハ降ラナイデ、北部デ今日ドシ
北山ヲ荒ラシテ居ル、鄭文流モ降ッタト云フテ居ルガ、或ハサウカモ知レナ
イケレドモ、其下ニ於テ李興隆ハ三角湧デ非常ニ暴レテ爲シテ居ッタ、三
角湧附近デ始末ニナラヌ、免ニ角大變ヲ亂暴ヲ働イデ居ル、(「簡單」ト呼
フ者アリ)ツレカラ南部ノ方ハ四大蟲ト言レテ、四ツノ大キナ蟲ト「レ」ト呼
南部ノ一番強イヤツハ柯鐵ニ林少猫、ツレカラ劉德均ニ陳水仙四人ガ各所ニ
起ッテ騷ガシテ居リマスガ、私ガ伺ヒタイノハ、臺灣ガ誠ニ靜ナ泰平無事デア
ル、泰平無事ナ世ノ中デアルト云フ何時デモ當局者ノ御話デアルガ、私ノ
伺ヒタイノハ、四大蟲ノ大將ヲ降シテ今日ハドウ云フ始末デアルカ伺ヒタイ
ノデ、柯鐵ハ今日ト雖モ——昨日ト雖モ矢張り、鳳山附近ヲ騷ガシテ居ッテ
ハ大將デアアル、林少猫ハ南部ノ山中ニ於テ大ニ兵ヲ動カシテ居ル、四大蟲ト
云フデ、四ツノ蟲トシテ恐レテ居ル、四人ノ中ニ一人位ハ歸順シタカ知レナイガ、
益々猖獗シテ居ッテ、我國ノ一二三ノ討伐隊ヲ煩ハシテ居ル、殆ド南部ノ方
ハ私ハ無政府ノ始末デアルト云フコトヲ憚ラナイ、是ニ就イテドウ云フ方法
ヲ以テ招安ニ就カシムルト云フコトヲ伺ヒタイ、唯ダ授産金ヲ與ヘテ實業ニ
就カスト云フタメニ約因ト云フモノヲ先方カラ何ヲ取ッテ居ルカ、昔ノ戰爭
ニハ斯ウ云フ場合ニハ人質ヲ取ルノデ、息子トカ娘トカ取ッテ約因トナッテ
居ラナケレバナラヌノニ降ッタト云ヘバ、ツレデ宜イノデアアル、背カレタ
時分ニハ何ノ制裁ガナイノデ、唯ダ降ッタト云フノ澤山ノ人ヲ集メテ總督
府デ莞爾リト笑ッテ逃ゲタト云フダケデアアル、誠ニドウモ不完全極ル次第
アルト私ハ考ヘマスカラ、此所ノ約因ヲ伺ヒタイ、人質ヲ取ッタカ、何ヲ取ッ
タカ伺ヒタイ、第四ノ質問ハ徵稅ノコトデアアルガ、徵稅ト云フコトハ臺灣
ガ取ラレタ以來臺灣ヲ此臺灣風ニ治メヤウト云フ考ヲ持タナイデ、臺灣ニ
向ッテ前申ス東京ト同ジヤウニ治メヤウト云フ乃木總督ノ時分カラ其方
針ヲ採ラレタノデ、臺灣ニ向ッテ日本ノ通ノコトヲ行ッテ日本ノ法治國同様
ノコトニシヤウト云フコトヲヤリカケタノハ、今日ノ失計ヲ求メタ所以デア
ル、御承知ノ通十八世紀ニ或ル英雄ガ云フ阿爾及耳佛蘭西ノ植民地デア
レドモ「アラブ」人種ノ一ツノ獨立帝國デアル、悉ク臺灣ハ臺灣自身ニ治
メサセナケレバナラヌノニ、臺灣ヲバ東京ト同ジヤウニ治メルト云フヤウナ
工合ニナッテ來タノガ、是ガ即チ今日澤山ノ法律ガ出ルノト、サウシテ租稅
ヲ澤山ニ持ッテ來ル事實ニナッテ居ルノデ、是ハ殆ド當局者ガ上院ニ於テ御
答ニナッタトキニ法律ヲ澤山出シテ居ルノハ、惡ルカッタク知レマセヌガ、臺灣
ニハ日本人モ支那人モ西洋人モ居ル、人種ガ異ッテ居ルカ知ラ、從ッテツレ相
應ノ法律ヲ出サナケレバナラヌ、内地人ト土人ト區別シテ出サナケレバナラ
ヌト云フ、サウ云フコトニ御答ニナッタカト思フト、土匪刑罰令ハ内地人ニ
モ及スコトニナッテ、土匪刑罰令ハ内地人ニモ向ケルト云フコトニナルナラ
バ、決シテ此土人ニ特別ノ法律ハ決シテナイ、阿片令位ノモノデアアル、西洋
人ニ向ッテハ、ドウ云フ法律ヲ出シテ居ルカ、異ッタ法律ガ出ナケレバナラ

ヌカラ、數ガ殖エテアルト云フコトヲ御話ニナッタガ、此區別ヲシタ法律ヲ
認ムルニハ苦ム、今日稅率ノ高イト云フコトガ所謂臺北ノ市中ナリ臺南ニ施
シテ内地人ノ間ニ於テ非常ニ問題ノ起ッテ居ルノハ稅デアアル、ドンナ稅ヲ
課シテ居ルカト云フト、地方稅ノ中ニハ又別ニ家屋稅ヲ課スル、或ハ一ツ
ノ賣買ヲスルナラバ、登記料ヲ課スル、稅率ト云フモノハドンナモノハ、
カト云フナラバ、殆ド一年一割ノ稅ヲ取ッテ居ル、香港杯ノ稅ト云フモノハ、
家屋稅杯ト云フモノハ一年一割——初五分デアッタノ割ニシテ三分ニ上ッタト云
フコトナラバ、寧ろ三階四階ノ家ヲ建テ、殆ド支那人葡萄牙人ノ寄生蟲ガ集
ルタメニ成ルベク家屋稅ヲ高クシテ防ガウト云フ意味カラシテモ、僅カ一割
三分ト云フコトデアアル、日本ハドウデアアルカト云フト、臺灣ニハ成ルベク内
地ノ人ガ來テ貫ヒタイト云フコトヲ希望シテ居ルニモ拘ラス、一割ヲ取ッテ
竝ニ登記料トカ或ハ營業稅トカ徵收シテ居ル、當局者ハ殆ド目的通取ッテ居
ル、土人カラモ内地人カラモ取ッテ豫算通完結シテ居ルト云フコトデアアルガ、
是ハ分ラズニ奪レタト云フコト、政府ノ官權ヲ以テ之ヲ取ッタト云フニ過ギ
ナイノデ、決シテ出シタト云フ意味デハナイト考ヘル、現ニ登記ト云フモノ
ハ三千圓ノ家屋ヲ賣買スルニ就イテ四百四十圓ノ稅ヲ取ルノデ、登記稅ノ高イ
ニハ驚クノデ、家屋ハドウダカト云フト二十圓ノ家賃デ借りテ、十六圓ノ稅ヲ
取ラレルト云フ、是ハ優ニ一割ト云フコトニナッテ居ル、今日臺灣ニハ成ルベ
ク生活シ易クシテ澤山ノ人ヲ入レナケレバナラヌ所デアアルニモ拘ラス、ツ
レデ營業ヲ妨害スルニ至ッテハ、實ニ驚カナケレバナラヌ、(「簡短々々」ト
呼フ者アリ)ノウ——ツレカラ今日土人ノ上カラ云フナラバドウデアアルカ、
日本ノ内地ノ上カラシテ課スル所ノ稅ト竝ニ土匪稅ヲ別ニ取ラレテ居ル、土
匪ノ方デ是ヲ奪レテ居ルノデ、土匪稅ト云フモノヲ別ニ掛ケラレテ居ッテ、土
匪ト二ツノ稅ガ掛ケラレテ居ル、田舎ノ方デハ悉クサウ云フ風ニナッテ居ル、
斯ル始末デ稅ト云フモノハ、非常ニ盛デアアルガ、今日ハ土人ノ土匪バカリ
デ濟シデ居ルガ、餘リ殘酷ナ取扱ヲスルト、内地人ノ土匪ガ起リハシナイカ
ト云フコトヲ憂フルノデ、此稅ニ就イテモ益々盛ニ取立レカドウカ、本年
度ニ於テハドウ云フ稅ヲ課スルカト云フコトヲ伺ヒタイ、ツレカラ其次ハ此
不動産ノコトニ就イテ伺ヒタイ、不動産ノ重モナルモノハ、大租權ノ買收デ、
是ハ法案ノ出ルトキヲ待ッテ伺ヒタイカラ、殘シテ置キマスガ、土匪ニ關係
シタ不動産ニ就イテハ、ドウ云フ始末ヲシテ居ルカ伺ヒタイ、此寺院ノ保護
ト云フコトヲ第一番ニ伺ヒタイガ、今日臺灣ヲ占領シタ以上ハ、臺灣ニ在
ル所ノ大キナ寺ハ悉ク軍隊トカ其他行政官廳トカ其他ノモノニ利用サレテ居
ルデアアル、是ハ何デモナイヤウデアアルケレドモ、土民ノ身ニナッテ見ルト、
實ニ自分ノ宗教トシテ信仰ヲ繋グ所ノ祖師廟トカ、或ハ天皇宮ヲ誠ニ大切ニ
考ヘテ居ル、軍隊ハ此不動産ヲ無暗ニ占領シタノデアアル、其占領シテ居ル、其
例ヲ申上ゲルナラバ臺北ノ大キナ祖師廟ハ病院ニナッテ居ル、其ツトニアル天
皇宮ハドウデアアルカト云フト、本願寺ノ坊主ニ總督府カラ貸シタト云フコト、
宗旨違ノ者ニ利用サレタ、祖師廟ト云フモノハ何ニ使ッテ居ルカト云フト、
學校ニ使ッテ居ル、斯ノ如ク彼等ノ信仰ニ依ッテ立ッ所ノ祖師廟トカ天皇宮
トカ云フ大事ノ所ノ宮ダノ社ダノ日本ノ行政部或ハ軍隊等ノ目的ニ悉ク使
用シテ、今日ト雖モ未ダ還サナイ、是ハ市中ニ對シテハ、差シタル問題

デハナイガ、田舎ニテハ先祖ヲ祀ツテ居ルモノヲ今日還サヌト云フノガ、土匪ノ條件トシテ持出スニイツモ重キヲ置イテ居ル次第アル、斯ノ如キコトハ、今日ニ於テ十分注意シナケレバナラヌ、總督府ノ當局者ニ於テハ、其儘ニ傍觀シテ居ル始末アル、竝ニ基督教ノ持ツテ居ル所ノ寺、是モ軍隊ガ土人ノ所有シテ居ルノヲ占領シタ、土匪ノ怒ルハ無理デハナイ、今日頂雙溪ノ基督教會堂ニ軍人が寝タリ、行政官ガ泊ッタリシテ、始終基督教ノ會堂ヲ潰スト云フコトハ、確ナ事實デ、此コトハ「マッカイ」ト云フ牧師ガ、最モ困ツテ居ル次第デ、彼等ガ信仰ノ土臺トシテ居ル寺、或ハ會堂ヲ無暗ニ使ツテ、イツモ之ヲ還シテ居ナイト云フ結果ニナツテ居ル、是ニ就イテハ水野貴族院議員モ御尋ニナリ、サウシテ當局者モ御答ニナツタガ、マダ還スベキ運ニナツテ居ナイカラ、今日ハ還シテ居ナイト云フコトデゴザイマス、是モ將來向ク御使ニナルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ、ツレカラ臺灣デ、鑛山ハドウデアルカト云フト、鑛山ハ今ノ市中ノ北部ノ土匪ノ多クハ、皆鑛山ノ役夫デアツテ、其役夫ヲ土人が鑛山デ使ツテ居ツタ、之ヲ海軍ニ於テ基隆ニ大キナ鑛山ガアル如ク、重ニ海軍デ占領サレテ、今日其儘手ヲ著ケナイデ居ルカラ、其勞働者ガ途方ニ暮レテ、食フ途ヲ求メルニ苦ンデ、土匪ノ仲間ニ這入ツテシマツタト云フコトハ、臺北ニ土匪ガ這入ツテ來タノヲ捕縛シタリ殺シタリシテ見ルト其中ニ工夫ガ多イ云フコトデアアル、是ハ無暗ニ鑛山ニ對シテ、ムヅカシイ法律ヲ置イテ、土人ノ採掘權ヲ取ツテシマツタカラ、土人ハ資本ヲ下スコトモ出來ズ、勞働者ヲ使フコトモ出來ナクナツタカラ、此勞働者ハ往場ガナクツテ、土匪ニナツタ者ガ澤山アル、之ト同ジク樟腦令ヲ布イタタメニ、樟腦山ハ熟蕃連中ガ往キ所ガナイカラ、是モ土匪ノ仲間ニ加ツタ始末ニナツテ居ル、尙ホ此不動産ニ就イテ申上ゲタイノハ、米ノ買収デアアル、是ハ臺灣ニ騷動ノ起ルノハ、イツモ米ノ高イトキニ起ルデアアル、支那内地ト同ジク亂民ガ起ル、臺灣ニ於テ米ノ買占ハ、乃木時代カラドシテ日本ノ商人ガ往ツテ買占メル、強チ之ヲ咎メルノデハナイガ、是ニ就イテ防遏ノ方法ト云フモノガ、昨年ノ始メ方出タ、臺灣ニ米ガナクナツテシマツタ、始テ氣ガ附イテ其法律ヲ布イタト云フコトハ、内地ノ日本ノ如クナラ、一俵ノ米ガ輸出サレテモ、經濟社會ニ影響ヲ及シテ、商業家ガ著目シテ居ルケレドモ、臺灣ハサウデナイ、土人ハ新聞ヲ讀ムデハナシ、明日食フ米ガ高クナツテモ、其際ニナツテ、プツカツテ來ナケレバ、米ガ少クナツタト云フコトハ知ラナイ、其處ニ至ツテ追ル——ドウカ禁ジテ呉レト云ツテ追ル、臺灣臺北宜蘭ト云フ米ノ良イ場處ノ者ガ、總代ヲ以テ總督府ニ迫ツタケレドモ、二箇月ヤ三箇月モ等閑ニ附シテ居ツタ、其間ニアチラノ安イ米ガ内地ニ這入ツテ、始テ米ノ缺乏ト云フコトヲ知ツタ、是ガ土匪ヲ起ス原因ニナツテ居ル、之ニ就イテモ將來ハドウ云フ方針ヲ取ラカ聞キタイ、竝ニモウ一ツ伺ヒタイノハ、蝗害ト云フテ臺灣ヲ日本ガ占領シ以來、蝗蟲ノ害ガアル、妙ナコトヲアチラノヤツガ云フニ、日本人ガ大變ニ土人ヲ殺シタカラ、其幽靈ガ彼ノ通澤山蝗蟲トナツテ出ルト云フ噂ガアル、是ハ内地デ占領シタ後、始テ出來タト云フコトハ、確ナ事實デアアル、此蝗蟲ハ昨年モ一昨年モ出來テ居ル、此蝗蟲ノ害ニ就イテハ、將來總督府ハドウ云フ手段ヲ取ラレルカ、今日マデ著手ニナツタ方法ヲ伺ヒマセヌデ、之ヲ伺ヒタイ、ツレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ不動產デ、大加納堡ト云フ臺北縣下ニ於テ、所謂大討伐ノアツタトキ、村ガ擧ツテ女子モ子供モ犬鶏マデ、殺盡レタト云

フ村ガ澤山アル、極端ニ云ヘバサウ云フ譯デアアル、極端デナクトモ十戸アルモノハ二三戸、土匪ノタメニ主人ガ殺サレテ居ル、中ニハ一家一門殺サレテ居ルノガ澤山アル、其不動産ノ土田ト云フモノハ、將來總督府ハドウ云フ方ニ利用スルカ、今日ハ明地ノ儘ニナツテ居ル、全體ハ今日北海道、或ハ布哇或ハ墨西哥ニ移住スルト云フコトデ、不毛ノ地ハ何年間ノ録下デ、漸ク開墾シテ收利シヤウト云フノデアアルガ、臺灣ニ往クナラバ年ニ三四度度ト云フ收納ノアル誠ニ美田沃野ノ上田ガ、誰モ主ガナクシテ棄ラレテ居ルモノガ澤山アル、此等ハ全體收稅ノ上カラ云ウテモ、著手シナケレバナラヌ、又所有權ノ上カラ云フテモ、チャント確メテ置カナケレバナラヌ、トモ少クモノデハナイ(大概ニ願ヒタイト)呼フ者アリ(ツレガ一村ノ内ニ幾ラモアルカラ、是ニ就イテ伺ヒタイ(「簡單々々」ト呼フ者アリ又「謹聽々々」ト呼フ者アリ))
○西村淳藏君(六十二番) 野間君ニニ御相談ガ致シタイ、實ニ先刻カラノ御演說ニ就イテ、誠ハ緻密デ至レリ盡セリデス、就イテハ……
○議長(片岡健吉君) 何デスカ
○西村淳藏君(六十二番) 野間君ニ御相談ガアルノデス
○野間五造君(百九十八番) (「無用々々」ト呼フ者アリ又「ヤリ給ヘヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)
○野間五造君(百九十八番) 私ハ云フダケノコトハヤリマス、注意致シテ成ルベク簡短ニヤリマス
○西村淳藏君(六十二番) 折角ノ御演說ガ無ニナリマシテハ、遺憾デゴザリマスカラ……
○野間五造君(百九十八番) ドウ致シマシテ……、此不動産ニ就イテ尙ホ申上ゲタイノハ、家屋制限法デアアル、此家屋制限法ト云フモノハ、總督府ニ於テハドウ云フ方針ヲ以テ、今後ハ御進行ニナルカ、アナタ方モ御承知ノ通、臺灣ニハ暴風雨ガアツテ、ツレガタメニ幾百人内地人ガ死シテ居ルカ知レナイ、其時分ノ統計表ハ能ク存シマセヌガ、向デモ大變ニ被害ヲ受ケタ、是ハ何ノ結果デアアルカト云フニ、家屋制限法ノ厲行ガナクカッタカラデアアル、臺灣ノ家屋ハ練瓦デ、一尺或ハ二尺ノ厚壁デヤツテアツテ、暴風雨ニ堪ヘルダケノ仕組デアアル、ツレニ就イテ内地人ガ始テ行ツタラ、様子ガ分ラナイカラ、日本ノ數寄屋建ヲ拵ヘ、誠ニドウモ東京デ拵ヘルヤウナ手輕ナ家屋ヲ建テタカラ、風デ倒レテ大變ノ人死ガアツタ、ツレガ修繕工事ノ費用ハ、諸君モ御協賛ヲナスツデアアルガ、此家屋制限法ヲ設ケアルナラバ、臺灣ニ斯ル強力ナル風ガアリ雨ガアルカラ、斯ル法律ニ依ラナケレバナラヌト云フコトヲ、一時ツレニ類シタコトハ、縣ノ令達トシテ出テ居ル法律ガアルガ、其厲行ガナイカラ、内地人ガ害ヲ受ケタト云フコトデアアル、是ハ始テ往ツタモノハ様子ヲ知ラナイカラ、無理ハナイガ、行政官ガ宜シタ十分取締ヲシナイト、此先キ幾百人死ヌカ知レナイト云フ恐ガアリマス、其次ハ第八ノ質問度量衡デアリマス、度量衡ハ臺灣ハメチャクニナツテ居ル、臺灣ニハ一モ標準ノ確ナモノハナイ、場處ト品物ニ依ツテ異ツテ居ル、酒ノ秤米ノ秤、酢醬油ト異ツテ居ル、ツレカラ場所デドウデアアルカト云フト、此尺ガ臺北ノ二タ所ノ市街ガアツテ大稻埕ト云フ市街デ尺ハ、同ジ一尺デモ、ツレカラ五尺六寸隔ツテ居ル艇艀ト云フ市街デ尺ハ、同ジ一尺デモ、ツレカラ艇艀ト云フ市街内デモ、區々ニナツテ寸ガ違ツテ居ル、甚シキニ至ツテハ一戸々々皆違フテ居ルニモ拘ラズ、之ヲ統一スルコトガ、一ツモ成績ヲ見テ居ラヌデアリマス、ノミナ

ラズ、明治二十八年十月法律十九號デボンヤリシタ縣達ガ出テ居リマスガ、丈量尺量——日本ガ占領シタラ、一般ノ曆ヲ變ヘルコト、度量衡ハ變ヘナケレバナライ、曆ハ變ヘテ居ルガ、度量衡ハ一ツモ強行ラシテ居ラナイ、ツレダカラ日本ノ物尺ヲ以テ市ニ往ッテ買ハナケレバナライ、サウスルト向フノヤツハ一々算盤ヲシテ漸ク賣買ノ相場ガ極マルト云フ今日ノ實際デア、ツレダカラ分々ヤツナレバツレレ割出スコトガ出來ルガ、田舎杯ニ至ルト、ツレガ出來ナイカラ、手加減デヤツテ居ルカラ、取方ハ多クシテ、出ス方ハ少クスルト云フコトモ出來ルナデ、度量衡杯ニ就イテハ商人トシテハ一日モ早ク一定シテ之ヲ強行シテ賣買ハナケレバナラヌ、今日此土地丈量云フ法案モ出、又何百萬圓ト云フ土地丈量費ノ法案ガ出ルト云フコトデゴザイマスガ、此コトニ就イテ伺ッテ置キタイコトモアルガ、一口ダケ申シテ置キマス、此間中ノ取調ニ依ルト十町ノ田地ヲバ測量スルノニ官吏ガ三人、人夫ガ七人、警官ガ三人、憲兵ガ一人、サウシテ一箇月掛ッテ漸ク十七町ノ土地ノ測量ガ出來タト云フ始末、ツレニ向ッテ今度ノ法案デ土地丈量ニ何百萬圓ノ金ヲ費スト云フコトデア、此位ノコトデ長サ二百里ノ曠々タル大地面ヲ何百萬圓掛ケテ何年後ニ出來上ルコトヤラ、是ハ法案ノ出タトキニ伺ヒタイノテアルガ、又豫メチヨット伺ヒタイノハ、此コトガ大變ニ十匪ニ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトデゴザイマス、此土地丈量ヲスルト云フコトガ、田舎ニ開エルト、又此上ニ稅ヲ課セラレルノデハナイカ、斯ウ稅ヲ課セラレルニ至ッテハ、臺灣ニハモウ住ム譯ニイカヌカラ、臺南ノ方ヘデモ移ラナケレバナラヌト云フ考ヲ起スデアアラウト云フコトデゴザイマス、ツレハ後ニハ分ルカラ宜イコトシタ所デ、此丈量ト云フモノガ、市街ノ近所ハ支那デモサウダサウデゴザイマスガ、市街ノ近所ハ一町四角ナラ一町四角ト云フモノガ寸法通ニナッテ、同ジコトデア、ツレガ山地ハ延地ニナッテ居ル、臺帳ニハ五町トナッテ居ルモノ、實際測量シテ見ルト十町アルト云フヤウナ始末、是ヲ測量シテ見ルト十町アルカラシテ、十町アルモノトシテ測量スルナレバ、土匪ハ今日位ノモノデハ濟マナイ、四十萬圓ノ鎮壓稅所ロデハナイ百萬圓二百萬圓ヲモ要スル、悉ク山ノ手ノ土田持ハ土匪ト看做シテ宜シ、其位ナラバ土地丈量ヲ差措イテ土地丈量ヲヤル必要ガナイ、何ニモ必要ハナイ、琉球ハ取ッテカラ三十年ノ今日ニナッテ土地丈量ガ始ッテ居ルニ拘ラズ、臺灣ハ二年三年ノ今日ニ於テ何モ是等ノ必要ハナイ、毫モ必要ヲ見出スコトハ出來ナイ、日本ノ物差ヲ以テ定メルコトハ免角彼等ノ感情ヲ害スルノミデ、一ノ利益モナイト云フ恐ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其次ハ教育ノコトニ就イテ簡單ニ申シマスガ、此教育ハ全體此間中新聞ニモ書イテアリマシタガ、今度地方稅ヲ以テ教育費ニ充テルト云フコトニ方針ヲ定メタト云フコトデアリマスガ、免ニ角地方稅ハ唯今申シタ通完全ニ納マル性質ノモノ、デナイ、ツレデ是ハ臺北ダケニハ地方稅アルガ、南ノ方ニハ何モナイ、何モナイ所デハ地方稅ヲ取立テルコトガ出來ヌカラ、サウ云フ所ニハ教育ヲシナイノカト云フコトヲ伺ヒタイ、教育ヲ地方稅ヲ以テ遣ルト云フコトデア、地方稅ノ集マラナイ所ハ教育ヲ施サヌト云フコトニモ、極端ニ云ヘバ聞エル、私ハ之ニ就イテ詢ニ今ノ當局者ガ教育ヲ冷淡ニ附シテ居ルノデハナイカト云フコト、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、其次ハ第八ニ此生蕃ノコトデアリマス、生蕃ハドウカト云フト、曾テ深堀大尉ガ一箇中隊ヲ率ヒテ行ッテ、ツレガ一人モ殘ラズ打殺サレ

テシマツタ、皆食テシマツタノデア、復讐ニ就イテ是カラ後ノ處分ニ就イテハ肅シテ聞ク所ガナイノデア、總督府ハドウ云フ處分ヲサレル積デアリマス、カ同ヒタイノデアリマス、ツレカラ是ニ引續キマシテ伺ヒタイノハ、臺灣ニハ隘勇ト云フモノガ行レル、隘勇ト云フモノハ生蕃ガ内地ニ這入ッテ來ルノヲ防グガタメニ土人ノ兵ヲ組織シテ之ニ向ハセルタメニ要處々々ニ詰メサセテ置ク、中部デ云フナラバ、彼ノ林紹堂トカ劉張傳杯ト云フヤウナ者デヤラシテ居ル、サウシテ總督府カラ幾千圓カノ補助ヲ與ヘテ居ル、此隘勇ガ生蕃ノ中ヘ入込シテ貿易ガ行レルノデア、此土人ノ兵隊ガ何千人ト云フ程アツテ、其兵ノ手心次第ニ依ッテ生蕃ヲ殺シタリ活シタリ品物ヲ奪フタリ取ッタルスルコトガ行レテ居ルト云フコトデアリマス、生蕃ガ憂ヘテ居ルノハ、此隘勇ト云フモノ、制度ノタメニ、何時モ譯ノ分ラヌモノガ内地ニ仇ヲスルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、此隘勇制度ガ今日以後ハドウ云フ方針ヲ取ラレ、御見込デア、是ニハ監督ト云フモノガ附イテ居ラナイ、支那人ノ名譽ノアル者ヲ集メテ保護ヲ與ヘテ居ル、サウシテ是等ニ生殺與奪ノ權ヲ與ヘテ居ルガ、彼ノ法律第六十三號デ大變ニ立法權ヲ總督府ニ與ヘルコトニナッテ居リマスガ、併ナガラマダ國籍ノ定ラナイ支那人ニ向ッテ日本人ノ殆ド同胞トモ云フベキ、生蕃人ノ生殺與奪ノ權ヲ與ヘルニ至ッテハ、實ニ驚カザルヲ得ヌデアリマス、是ニ就イテハ今後ハドウ云フ御方針ヲ以テナサルカト云フコトヲ伺ヒタイ、私ハモウ簡短ニヤリマスガ、此次ハ銀行法案デアリマス、是ハ豫メ質問ヲ致シテ置キマスガ、法案ノ御説明ノトキニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、ツレハドウカト云フト、明治三十年三月ニ此議案ガ議會ヲ通過シタ、當時吾々ハ此法案ハ到底成立スベキモノデナイト云フ考ヲ持ッテ居ッタ、果シテ今日マデ何年經過シタカ知ラヌガ、其銀行ハ決シテ出來ナイ、言換ヘレバ政府ガ其當時出シタ所ノモノハ、空文ニ屬シテ居ル、一ツモ出來テ居ラナイ、出來テ居ラナイノハ、ツレデ宜シ、ケレドモ、ツレガタメニ大變害ヲ受ケテ居ルコトガアル、ナゼナラバ斯ウ云フヤウナ保護ノアル大銀行ヲ臺灣ノ真中ニ置クト云フコトヲ議會デ定メタガタメニ、一個人ノ銀行者ハ臺灣ニ向ッテ手ヲ著ケルコトヲ皆見合シテシマツタ、斯ウ云フ保護ノアル銀行トハ、競争ガ出來ナイトシテ、手ヲ著ケナイ方ガ宜イト云フノデ、銀行者流ガ皆手ヲ引イタ、引イタカラ臺灣市中ノ金融ノ逼迫ト云フモノガ驚クヘキ程ニナッタ、今日百圓ニ就イテ十圓ノ利ヲ出シテ平身低頭シテ借りニ行カナケレバナライ、百圓ニ附イテ十圓ノ利ト云フノハ當リ前ノ利デアツテ、寧ロ低利デアリマス、斯ノ如キ逼迫ハ何デア、銀行ト云フ金融機關ガナイガタメデア、ツレナラバ金融機關ハ何モナイカト云ヘバ、是マデ私立銀行ガアツタガ、是ハ四五年前カラ不動產ニ金ヲ貸過シタタメニ、運轉資本ガ缺乏シテ、貸出ヲ中止シテ居ル故ニ銀行ハアツテモナキガ如ク何ニモナラナイ、スルト云フト荷爲換デモ爲換デモ出來ナイ、貯金モ出來ナイト云フガ今日ノ始末デアリマス、斯ノ如ク金融機關ヲ杜絶シタノハ畢竟右ノ如キ法案ヲ出シタカラデ、政府ハ其實ヲ免レカトハ出來ナイ、ツレデ補助法案ト云フモノガ出テ其ト法律ハ其責ヲ免レカトハ出來ナイ、是ダケ保護シテアルカラ、今度出來タ所ノモノデモ恐ラクバマダ成立スルニ困難デアラウ、又成立ラシナイデ終ッテシマツタ所デ、一方デハ成立セズ、他方デハ商業家ガ恐ヲ懷ヒテ金融機關ヲ臺灣ニ持ッテ行クコトヲ控ヘテ、金融ノ逼

追ヲ益々盛ニスルコトデアラウト思フ、臺灣銀行ノ補助法案ニ就イテハ政府ハ出來上ルト云フ見込デアアルカドウカ、其御話ヲシテ戴キタイ、私ハ其歴史ニ就イテ調ベタコトガアリマスカラ、簡短ニ申シマス、ドウカ聽イテ下サイ、私ハ此法案ハ成立シナイト思ヒマシタカラ、他ノ書籍ニ依ツテ見マシタガ、能ク臺灣ニ似テ居ル彼ノ阿爾及耳ガドウデアッタコト云フコトヲ調ベテ見マシタ、是ハ七十年前ニ占領ヲシタノデアリマスガ、二十年経ツテカラ一覽拂ノ銀行ヲ阿爾及耳ニ起シタ、ソレハ二十年ノ後ニ始テ出來タノデ、所ガ今日ノ臺灣ハマダ國籍スラ定ラナイ土匪ノアル無政府ノ所ニ一覽拂ノ銀行ヲ建テヤウトスルノハ、誠ニ有難過ギル話デアアル及耳ハドノ位ノ發行高ヲ許シタカト云フニ、三百萬法郎、一百二十萬圓バカリ、發行高ヲ許シテ居ルガ、本案ニ依ルト五百萬圓ノ發行高ヲ許シテ居ルガ、是ハ難イ話デアラウト思フ阿爾及耳ノ結果ハドウデアアルカト云フト、五十二年二年三年ノ三箇年デハ十一萬法郎ヲ出ナイ始末デアアル、所ガ日本ハ五百萬圓ヲ直グ出スト云ツテ百萬圓ノ保護ヲシヤウトシテ居ル、茲デチヨット申シマスガ、日本銀行ノ兌換券ガ臺灣ニドウ云フ歴史ヲ持ツテ居ルカト云フニ、日本銀行ノ兌換券一圓ガ臺灣占領當時ハ五十錢ノ通用シカシナカッタ、ソレモ分ツタモノダケデ、分ラヌモノハ皆無駄目デアッタ、分ツタモノニスラソレモ總督府デ日本銀行ノ紙幣ヲマルデ押附ニ持タシタノデアアル、私ガ銀貨ヲ持ツテ行クト、二枚ノ紙幣ヲ吳レタ、ソレハ分ツタモノデ、分ラヌモノハ絕對ニ行ハレナカッタ、所ガ段々ニ今日デハ日本銀行ノ金券ノ信用ヲ回復シテ市中ノ真中デ一圓ハ一圓ノ紙幣ニ通ルヤウニナッタ、是ハ日本ノ御陰デハナイノデ、此紙幣ガ香港杯ニ同ツテ香港杯デ此紙幣ガ信用ガアルカラ、海岸ノ貿易地ニ於テ流行ヲ見ルカラ、終ニ臺灣ニ於テモ金銀貨ヲ送ルヨリハ、紙幣ノ方ガ便利デアアルカラト云フコトデ行ル、コトニナッタノデ、決シテ是ハ日本ノ信用ト云フ意味ヂヤナイ、外部カラ回ツテ來タ信用カラ一圓ハ一圓デ通用スルヤウニナッタノデアアル、ケレドモ今日臺中トカ苗栗トカ云フ所デハ、二十五錢ノ差ガアル、ソウスルト百圓ノ銀貨ヲ持ツテ行ケバ、單ニ紙幣交換ノ上デ二十五圓ノ利益ヲ得ラルルト云フ譯デ、日本銀行ノ金券スラ尙ホ斯ノ如シ、今度新ニ拵ヘル三百萬圓ノ小銀行ノ一覽拂ノ手形ガ、ドレダケノ信用ヲ保チ、ドレダケノ働ヲ爲スカト云フコトハ問題デアアル、ソレデ先ヅ是ガ阿爾及耳デモ、日本銀行ノ兌換券デモ、皆是ガ法貨ニナツテ居ルカラシテ、ドウシテモ之ヲ通用シナケレバナラヌ、即チ負債者ガ是ヲ拂フ權利ヲ持ツテ居ルガ、今度ノ之ハ拂フ權利ノアルモノデナイ故ニ、是ハ日本銀行ノ兌換券トハ法律上差等ガ出來テ居ル、況ヤサウ云フモノハ外國ヘ持ツテ行ツテハ、一文ノ價值モナイ、又内地ニ向ツテハ是ガ全ク通用デ一ツノ物ヲ買フコトモ出來ナイ、香港上海ノ「バンク」アタリデ是ヲ交換シテ利用シテ使フコトハアリマセウガ、餘リ之ハ行ヘナイコトデアルト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレデ今日法案ガ出テ居ルカラ、今日ノ問題トシテ聞イテ貰ツテモ宜イガ、成立セザルノハサウ云フ理由デアアル、ソコ外國人ハ之ニ向ツテドウ云フ信用ガアルコト云フコトヲ申上ゲテ置クガ、沿岸ノ外國人ハ決シテ銀貨ニ換ヘルコトヲ望マナイ、寧ロ金貨ヲ望ムカラ日本銀行券ナラバ、アチラデモ通用スルカ知ラヌガ、銀貨ノ兌換券ハ通用シナイ……

○議長(片岡健吉君) 質問ハ成ルタケ要領ヲ御述ニナルヤウニ……

○野間五造君(百九十八番) 宜シウゴザイマス、一覽拂ノ銀行ガ縱シ成

立ノ時代ニ推測デアアルガ、成立シタト云フ場合ニ、臺灣銀行ガ爲ス業務ガ今日ノ時代ニ適應シテ、果シテ臺灣ニ於ケル臺灣銀行條例中ニ記載シテアルダケノモノニ應ズル業務ガ出來ルカドウカヲ伺ヒタイ、ソレハ何ンデアアルダ云フト、臺灣銀行條例中ノ第二條デゴザイマス、原文ヲ引寫シテ參リマシタガ、是ガ臺灣銀行ノ今日執ルべき業務デアアル、第一ニ爲換手形商業手形ノ割引、斯ウ云フコトニナツテ居ル、臺灣ノ不景氣極マル土地、例ヘバ十圓ノ財產ヲ持ツテ居ツテ八圓ノ商賣シカ出來ヌ土地、ナゼナレバ皆人ガ轉帳シテ一ツ所ニ居ナイカラ、爲換手形トカ約束手形トカ信用手形ナドハ少シモ行レナイ、臺灣銀行ノ條例中ノ第一番ニ掲ゲテアル商業手形ノ割引ハ臺灣ニハナイモノト云ウテ宜シイ、第二番ニ法案ニ書イテアルハ爲換及荷爲換ハ、小サナ銀行ナラバ、ソレハ内地ト臺灣ノ間ニ取扱ツテ差支ナイガ、最早五百萬圓カラノ銀行ニナレバ、先刻モ申シタ通此上海香港ノ銀行如キ沿岸ノ貿易ニ就イテ爲換ヲ取組ムベキ目的ニナツテ居ルカラ、此上海香港「バンク」杯ガ今日マデヤツテ居ルノト競争シテ、儲カルカ損スルカト云フニ、先ヅ損ヲスルトソレハ今日マデ中立銀行ガヤツテ居ツタ荷爲換ハ百圓ニ附イテ五十錢ヲ取ツテ居ツタ、是ハ臺北カラ内地ニ送ルベキモノデ五箇月間デアアルガ、此上海「バンク」ノヤツテ居ルノハ、臺南カラズット淡水ニ來テ廈門カラ香港ニ歸ル、此長道中デアアルニモ拘ラズ、荷爲換ハ百圓ニ附イテ二十錢カラ十八錢ガ相場デアアル、半分ヨリ少ク掛ル、荷爲換ノ安イニ、今度ノ銀行ガ是ト競争スルカラ、損ヲスル覺悟ヲシナケレバナラヌ、ナゼナレバ今日ノ中立銀行デサヘ五十錢ヨリ安クスルコトハ出來ヌニ拘ラズ、此臺灣銀行ヲ設クルト云フコトニナルト、之ガ必ズ損ヲシナケレバナラヌコトニナルデアラウト思ヒマス、ソレカラ荷爲換方ハ上海「バンク」デハ百圓ニ附イテ九十圓マデ貸スノデアアル、所ガ日本銀行ハ樟腦ヲ中立銀行デ神戶ニ送ルハ、百圓ニ附イテ五十圓カ六十圓デアアル、スルト同ジ千圓ノ金デモ片方「バンク」支那人ガ、片方ハサウデアナイ、今日ノ臺灣ノ私立銀行ハ上海「バンク」支那人ノ仲間ノ設ケテ居ル信用ノ組合ノ金融ノ機關トハ競争ハ出來ヌ始末ニナツテ居ルカラ、爲換荷爲換ト書イテアルガ、是ハナイモノト覺悟シナケレバナラヌ、第三番目ニハ「平常取引スル諸會社又ハ商人ノ爲メ手形金ノ取立斯ウアル、所ガ是ニ就イテ申上ゲルガ、臺灣ニ會社ト云フモノガアルカナイカハ、一ツノ問題デアアル、臺灣ニハ殆ドナイト思フ、日本ノ會社ノ支店ハ一ツヤ二ツハアルカ知ラヌガ、臺北即チ東京トモ云フベキ都ノ真中ニ於テ會社ト云フベキモノハ一ツモナイ、電燈會社ガ出來マシタコトガアリマシタガ、二三年前ニ壞レタ、運輸會社トカ取引會社トカ二三ノモノガ出來マシタガ、皆潰レテ今ハナイ、茲ニ法律ニアル平常取引スル諸會社ト云フモノハ、マルデ皆無クハナケレバナラヌ、其次ニ確實ナル不動産ヲ抵當ニスルノハ、マルデ皆無ク確實ノ不動産ヲ抵當ニスルコトハ、今日マデ中立銀行ガ手ヲ燒イタ一ツノモトデアアル、抵當ニ不動産ヲ取ルハ、農工銀行アタリデモ流レタトキニ困ルト云フ問題ガ起ルガ、此不動産ヲ脊負込メ、金融ガ固定シタノデアアル、ドウスルコトモ出來ナクナツテ、種々ノ銀行ガ一儲ニナツテ業務ヲ改メルト云フコトデアアル、ソレカラ動產ノ抵當、是モ臺灣デハ行ヘナイコトデアアル、何故ナレバ臺灣デハ、着物ハ雨ノ降ルトキニハ、質家デハ取ラナイノデアアル、故ニ動產ヲ取ツタナラバ、果シテ破産スルニ極ツテ居ル、其トキハ其預金トアリマスケレドモ、日本人ノ預ケル金ハ高ノ知レタモノデアアル、五百萬圓位ノ大銀行ナラバ、支那人ノ金ヲ預ルコトモ出來マセウケレドモ、十年モ二十年モソレハ經タナケレバ出來ヌノデアアル、ソレカラ地金銀或ハ金屬ノ

リマシタカラシテ御報告ハ出来ヌデアリマスケレドモ、十分討究ノ上今日ノ形勢ニ於テハ、已ムヲ得ヌコトデアルト云フコトヲ委員總會ニ於テハ認メマシテ、滿場一致之ヲ可決スベキモノト決定ヲ致シマシタノデアリマス、尤モ此コトハ急ヲ要スル件デアリマスカラシテ、尙ホ是モ直チニ本會ニ於テ決議アラシコトヲ希望スルデゴザイマス

○恒松隆慶君(九十七番) チョット尋ネマスルガ、直チニト云フト議事日程變更デアリマスカ、政府案ノ一カラ十マデ濟シタ所デ豫算問題ヲ議ニ掛ケラハト云フノデアリマスカ

○栗原亮一君(八十七番) 併テ茲ニ至急ヲ要スルモノデアリマスカラ、本會議ニ入ル前ニ日程ヲ變更シテ直チニ本會ノ決議アラシコトヲ希望スルノデアリマス

○工藤行幹君(百二十五番) 唯今委員長ノ御報告デゴザイマスルガ、私共モ其事柄ニ就テハ敢テ可否ヲ云フ譯デアリマセヌガ、如何ニモ此數多イ議案デアリマシテ、吾々ハ其議案ヲ持ッテ來ルノニ、サウ云フコトヲ始終出サレテハ議案ヲ見ルコトガ出來ズニ、何トモドウモシヤウガナイ、故ニ今委員長ノ御話ノ通急デモゴザイマセウケレドモ、一日位ノ待タレヌコトハナイト思ヒマスカラ、ドウゾ明日ノ議事日程ニ掲ゲ、サウシテ其案ヲ持ッテ來タ所デ議サレタナラバ、ツレ程海關稅ノ何モ倉ヲ立テルトカ朝鮮鐵道ノ如キハ、一日モ延バサレヌト云フ程ノ急ナコトデアリマイト思ヒマス故ニ、願ハクハ委員會デハ當局者ニ能ク御聽ニナツテ十分吾々ノ信用スルダケノ御證議ニハナツタデアリマセウケレドモ、案モ何モナク斯ウ云フモノヲ出シテ直ニ議スルト云フコトハ、餘リ輕忽ナ次第デゴザイマスルニ就テ、是ハドウゾ明日ノ議事日程ニ掲ゲテ、サウシテ御審議ニナルコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ變更ニ就テハ、討論ヲ用ヒシテ採決スルトコトニナツテ居リマスカラ採決致シマス、今豫算委員ノ報告致シマシタコトニ就テ議事日程ヲ變更シテ直ニ議サウト云フノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本日ノ議事日程ニ入リマス前ニ、御諮リヲ致シテガアリマスガ、須藤善一郎君ハ事故アツテ明治二十九年法律第六十三號改正法律案ノ特別委員ヲ、辭任ニナリマシタ、之ヲ許シマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 尙ホ是ハ議長ノ指名ニ成立チタル委員デアリマスカラ此ノ補闕ヲ議長ガ指名シテモ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) ツレナレバ議長ガ指名スルコトニ致シマス、尙ホ御注意ノタメニ諸君ニ申シテ置クノハ、衆議院規則ニモ、特別委員ハ相當ノ理由ガナケレバ辭スルコトヲ得ナイト云フコトガアリマス、然ルニ是マデ段々委員ヲマデ辭セラレタ慣例モアリマスガ、ドウゾ適當ノ理由ガナケレバ、辭任サレナイヤウニ御注意ヲ申シテ置キマス、今ノ委員ニ花井卓藏君ヲ指名致シマス、是ヨリ議事日程ノ第一ニ移リマス、委員長杉田定一君

第一 北海道舊土人保護法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○杉田定一君(二百九十九番) 北海道舊土人保護法案ノ委員會ニ於ケル模様

ヲ御報告ヲ致シマス、該法案中ノ第六條ノ修正ガゴザイマシタ、此修正ハ既ニ諸君ヘ御報告ニナツテ居リマスルデ、朝讀ハ致シマセヌ、其他ノ箇條ハ原案通全會一致ヲ以テ可決ニナリマスルデ、諸君モ御承知ノ通北海道ノ舊土人、即チ「アイノ」人種ナルモノハ、内地ノ移民ノタメニ壓倒セラレテ、段々其產ヲ失ヒ活路ニ迷ヒ、人口ハ年々減縮シタル云フヤウナ有様ニ立至ッタトデゴザイマス、均シク「アイノ」土人ト申シマシテモ、即チ我々皇ノ下ニ一視同仁ノ下ニ棲息スル所ノ赤兒デゴザイマスレバ、吾々同胞ニ於テモ其困窮ヲ傍觀スルニ忍ビナイ次第デゴザイマス、就キマシテハ彼ノ土人ニ對シテ、適當ナル保護ヲ加ヘナケレバナラナイト信ジマス、即チ本案ハ委員會ニ於テ適當ト認シタ次第デゴザイマスデ、ドウカ滿場一致ヲ以テ、御可決アラシコトヲ希望致シマス

○鯨島相政君(二百二十九番) チョット質問致シマス

○杉田定一君(二百九十九番) 私ニ質問デスカ

○鯨島相政君(二百二十九番) アナタデモ政府委員デモ宜シウゴザイマス

○杉田定一君(二百九十九番) 此原案ニ就テ御不審ガアレバ、政府委員ニ御尋下サイ

○鯨島相政君(二百二十九番) 然ラバ政府委員ニ御尋致シマス、至極簡短デゴザイマスガ、此第一條ニ依リマシテ無償下付ヲ要スベキ戸數ハ、凡ソ土人アリマスカト云フコトハ、ツレカラ第八條ニ依ッテ見マスルト云フト、舊土人ノ共有財産ト云フモノガ、アルヤウニ認メテ居リマスガ、是ハ如何ナル種類ノモノデアツテ、又此共有財産ヨリ生ズル收益ト云フモノハ、年ニ幾許位ニナルデゴザイマス、此三點ヲ伺ヒマス

(政府委員内務書記官白仁武君演壇ニ登ル)

○政府委員(白仁武君) 唯今ノ御問ニ御答致シマスルガ、第一條ノ一万五千坪以内ヲ下付致シマスル其總高ハ、豫メ分リマセヌデゴザイマス、ト申シマスルノハ、唯今ノ居リマスル土人ガ、總人口一万七千人、バカリ居リマスケレドモ、其者ガ果シテ悉ク此農業ニ從事スルヤ否ヤト云フコトハ分リマセヌカラ、從ッテ無代下付ヲ致シマスル土地ノ總高ハ、豫メ算盤ガ立チマセヌデゴザイマス、併ナガラ總人口ガ一万七千人デアリマスカラ、ツレヨリ越スコハ、凡ソ三通バカリデアリマス、ツレハ十年バカリ以前ニ、宮内省ヨリ御下付ニナリマシタ、北海道舊土人ノ教育費ト云フモノガアリマス、是ハ下付ノ當時ハ千圓バカリデアリマスガ、其後文部省カラ下付ニナリマシタ二千圓バカリガアリマス、其一千圓ト二千圓ト合シマシテ、且ツ今日マデ預入レテ置キマシタ其利息ヲ加ヘマシテ、凡ソ六千圓バカリノ高ニナツテ居リマス、是ガ一ツ、ツレカラ開拓使ノ時代ニ土人ヲ保護スルノ目的ヲ以テ、不動産ヲ與ヘハ動産ヲ與ヘマシタ財産ガ、今日殘ッテ居リマシテ、十勝ノ國ニ十勝ノ國ノ舊土人ノ共有財産ト云フモノガアリマス、是ハ其高三万何千圓ト云フモノデアリマス、是ガ第二ツレカラ日高ノ國ニ日高ノ國ノ或ル部落ノ共有財産ト云フモノガアリマス、是ハ高ガ極ク僅ダ三百何十圓ト云フモノデアリマス、其三ツノ共有財産ガ、先ツ此八條ニ見込シテ居リマス所ノ財産デアリマス、ツレカラ其財産ノ收益ノ三圓トバカリノ元デ、六千圓バカリノ今ノ教育費ノ方ハ、唯今申上ケルヤウ利息ガ付イテ居リマス、十勝ノ國ノ三万何千圓ト云フ其財產ノ收益ハ、是ハ年々使ヒ果シマシテ、今日マデ積ンデアルモノハゴザイマセヌ、日高ノ國ノ共有財産ト云フモノモ其通デゴザイマス

一九九

ル物品ヲ保管スヘキ倉庫營業者ヲ指定スルコトヲ得

倉庫營業者ハ其營業ノ部類ニ屬スル物ニシテ其保管シ得ヘキ數量ニ限リ
之ヲ保管スル義務ヲ負フ

第六條 倉庫營業者ニ供託ヲ爲サント欲スル者ハ司法大臣カ定メタル書式
ニ依リ倉庫營業者ニ供託物ニ添ヘテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

第七條 倉庫營業者ハ供託物ヲ受取ルヘキ者ニ對シ一般ニ同種ノ物ニ付テ
請求スル保管料ヲ請求スルコトヲ得

第八條 供託物ハ供託者カ指定シタル者又ハ法令若クハ裁判ニ依リテ定マ
リタル者ニシテ還付ス

供託者ハ民法第四百九十六條ノ規定ニ依レルコト、供託カ錯誤ニ出デシ
コト又ハ其原因カ消滅シタルコトヲ證明スルニ非サレハ供託物ヲ取戻ス
コトヲ得ス

第九條 供託者カ供託物ヲ受取ル權利ヲ有セサル者ヲ指定シタルトキハ其
供託ハ無効トス

第十條 供託物ヲ受取ルヘキ者カ反對給付ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ供託所
ニ其給付ヲ爲シ又ハ供託者ノ書面若クハ裁判ニ依リ其給付アリタルコト
ヲ證明スルニ非サレハ供託物ヲ受取ルコトヲ得ス

附則

第十一條 本法ハ明治三十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 本法施行前ニ供託シタル金銀ニハ其施行ノ月ヨリ拂渡請求ノ前
月マテ第三條ノ利息ヲ附スルコトヲ要ス

第十三條 第四條、第八條及ヒ第十條ノ規定ハ本法施行前ニ供託シタル物
ニモ亦之ヲ適用ス

第十四條 明治二十三年勅令第四百五十五號供託規則ハ本法施行ノ日ヨリ之
ヲ廢止ス

○政府委員東京帝國大學法科大學教授法學博士梅謙次郎君演壇ニ登ル
○政府委員梅謙次郎君 供託法案ハ、民法及商法ノ修正ニ伴ヒマシテ必要
ナル法案デアリマシテ前期ノ議會ニ民法商法ト共ニ提出致シマシタ、ケレド
モ貴族院ダケ通過致シマシテ不幸ニシテ本院ヲ通過スルノ暇ガナカッタノデ
ゴザイマス、然ルニ民法ハ既ニ全部施行セラレ、商法モ前ノ商法ガ現在施行
セラレテ居リ、尙ホ其商法ガ別々ニ修正セラレテ其修正セラレタル商法ガ遠
カラザル中ニ施行セラレ、コトデアラウト存ジマスルデ、旁々以テ此供託法
ノ修正ト云フコトハ必要ト相成リマシタノデゴザイマス、ドウカ簡單ナル法
案デゴザイマスカラ、速ニ御議決アラント希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質疑モゴザイマセネバ、議事日程第十特別委員
ノ選舉ニ移リマス

第十 右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議ガゴザイマセ
ヌカ

○議長(片岡健吉君) (異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) ソレデハ議長ガ指名スルコトニ致シマス、議事日程
ノ第十一ニ移リマス藤金作君

第十一 特別年限地租増徴ニ關スル法律案(藤金作 第一讀會)

特別年限地租増徴ニ關スル法律案
明治三十二年度ヨリ同三十六年度迄五箇年間田畑及市街宅地ニ就キ特別増

徴ノ地租ニハ府縣稅又ハ市町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

(藤金作君演壇ニ登ル)

○藤金作君(百二十六番) 本案ハ少シ誤植ガアリマスカラ、訂正ヲ願ヒマス、
「明治三十二年度ヨリ三十六年度マデ五箇年間」ニシマシテ「田畑及市街宅地」
ノ七文字ヲ除キマシテ是ニ易フルニ「市街宅地及田畑其他ノ地目」ト云フ十
二文字ヲ加ヘルノデス、サウシマシテ理由書ノ方ニモ少シ御訂正ヲ願ヒマス、
理由書ノ「田畑及」ノ三字ヲ御削リ願ヒマス、サウシテ市街宅地ノ下ニ「及
田畑其他ノ地目」ト云フ八字ヲ挿入致シマス、本案ハ極テ簡單ナル單獨法
アリマスカラ、其理由ヲ一々陳辯スルノ必要ハナイト存ジマスケレドモ、又
或ル御考デハ府縣町村稅ノ如キハ、今年々其額ヲ高メマシテ、今日デハ特
別制限外ヲ許可ヲ受ケテ徵收スルコトモアル故ニ、此法案ハナクテモ宜シ
イ、斯ウ云フ御説モアルノデゴザイマス、併ナガラ御承知ノ如ク、地租ノ増
徴ニ就キマシテハ、一般ニ地主ト農民ハ餘程之ニハ困ツテ居ルノデゴザイマ
スカラ、成ルタケ此地租ハ其負擔ヲ輕クシタイト云フガ、本案ハ趣意デゴザ
イマシテ、且地租ハ五箇年ノ年限ヲ附シマシテ、五箇年ノ後ハ此千分ノ八ハ
解除スルノデゴザイマシテ、是ニ府縣町村稅ヲ賦課スルコト云フコトハ全ク取
除ケタガ、在來ノ百分ノ一箇年ノ地租ト其性質ヲ異ニシテ明ナル方ガ、一般
人民ニ親易ク且ツ安心スル所デアラウト云フ考ナノデゴザイマス、就キマシ
テ此府縣稅町村稅ガ今日如何ナルラウト云フ考ナノデゴザイマス、就キマシ
リ調査シタル所ヲ述ベマシテ、諸君ノ御參考ニ致シタイト存ジマス、府縣稅市
町村稅市町村費ノ歲入ノ總額ハ、二十三年度ニ於キマシテハ四千五百三十万
二千九百七十八圓デアリマシタ、其中ニ地租割ヨリ出シタモノハ一千五百四
十二万二千九百圓デアリマス、此中ノ之ヲ歲入ノ總額ニ比例シマスルト、百分
ノ三十四、零三、三當ツテ居リマス、ソレガ六箇年ヲ經マシテ二十九年
度ノ統計表ニ依リマス、府縣稅市町村稅市町村費歲入ノ總額ハ、八千四百三十二万
八百九十八圓トナツテ居リマス、此内地租割ヨリ負擔シタモノガ一千九百七
十九万四千七百七十圓トナツテ居リマス、ソコデ特別制限外ノ地租割ハ此内
二百二十六万九千五百七十七圓トナツテ居リマス、此二ツヲ合セマシタ地租割ノ負擔
ハ二千二百六十六万五千二百七十七圓、歲入ニ此例致シマスルト百分ノ二十六、零
一、六トナリマス、故ニ二十三年度ニ於テ負擔致シマシタ割合ハ、二千八百六十九万
四千四百二圓トナリマスカラ、之ヲ差引致シマスルト六百六十二万七千八百七
十五圓程此割合ヲ増シテ來マシタノデゴザイマス、ソレデ地租割ノ制限ガナ
イトキニハ、未ダ此地租ノ負擔スル額ハ多クナツテ居ラウト思ヒマス、地
租割ノ制限ガアルタメニ、二十三年度ヨリ二十九年度ニ至ツテ斯ノ如ク府縣稅
以外ノ増額致シマシタ額ハ、四割六分餘ヲ増シテ居マスルケレドモ、地租ニ
負擔セシメタモノハ、右ノ比例ニナツテ居リマスノデス、ソレデ此制限ハ矢
張地租ヲ負擔スル者ノタメニハ、餘程利益ニナツテ居ルト思ヒマス、或ル
一地方ニ於テハ、何ニモ其制限以外ノ許可ヲ受ケテ徵收スルコトガ出來ルカ
ラ、此法案ハアツテモナウデモ何ノ利益ニモナラヌト云フコトハ、專ラ御論
ガアルヤウニ伺ヒマスケレドモ、全國ヲ見渡シマスレバ決シテ此制限モ無用
デナイト、又今度ノ千分ノ八ニ附加稅ヲ課セナイト云フコトハ、事實ニ於テ大
イニ利益ニナルト云フコトハ、統計ノ上ニ於テ現レテ居リマス(簡短)ト呼
フ者アリ)此計算ノ所ハ至ツテ詳シク私ハ調査致シタ積デゴザイマスガ、是

ハ一々述べマセウヨリモ、此調査致シテ書類ヲ此速記ニ載セテ貫フテ置イタナラバ又大イニ諸君ガ御參考ニナルデアラト存ジマスカラ、一々其數ヲ述ベルコトハ、或ハ諸君ハ御嫌ニナラウカト存ジマスカラ、之ヲ略スルコトニ致シマス、因ツテ是ハ緻密ニ調査シタ比例ガアリマスガ、此速記録ニ載ツテ居ルコトニナリマスカラ、篤ト御覽ヲ願ヒマス、ドウゾ是ハ地租増徴ニ御反對ノ御方ニシテモ、此贊成セラレタ御方ハ無論此案ニ御反對ハアルマイト存ジマス、唯先刻ヨリモ述べマス如ク、是ハアツテモナウテモ同ジコトデアラウト云フ御考ハ、唯其一部分ノ府縣トカ一部分ノ町村ノコトヲ知ツテ、全縣下ノ統計ノ上ニ能ク御考ノナイ御方ガアリハシマイカト、竊ニ心痛致スノデゴザリマス、ドウカ此案ノ通過ヲ希望致シマス

(參照)

府縣稅市町村稅區町村費歲入ノ總額ハ二十三年度ニ於テ金四千五百三十一萬二千九百七十八圓

地租割ハ 千五百四十二萬零百二十九圓

歲入總額百分ノ 三十四零三三當ル

二十九年度ニ至リ

地租割ハ

計金

歲入額百分ノ

若シ制限ナクシテ二十三年度ノ歩合ニスレハ

是ヲ差引スレハ

六百六十二萬七千八百七十五圓ハ

地租割ニ制限アルカタメニ其負擔ノ増額ヲ免レタルモノナラン

右ノ如ク六箇年間ニ府縣市町村稅ノ歲入増加シタル歩合ハ

八割六歩餘

二十三年度ノ地租割ハ三十九錢

二十九年度ノ地租割ハ五十七錢三厘八毛

其増額歩合ハ四割七歩一厘

差引

三割八歩ノ特典ヲ被レリ

百分ノ二箇半ニ増租千分ノ八ヲ加ル府縣以下ノ賦課稅ヲ課スレハ

地價百圓ニ附キ 一圓八十九錢三厘五毛トナル

地租ヲ併セテ地價百圓ニ附キ

五圓十九錢三厘五毛四トナル

本案カ可決スレハ是マテノ通ニシテ

故ニ此案カ通過スレハ

地價百圓ニ附キ 四十五錢九厘ヲ減スル割合トナル

若シ本案カ否決スレハ

今度ノ増租ハ地價千分ノ十二、五九トナル

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(片岡健吉君) 工藤君ハ質問デスカ

○工藤行幹君(百二十五番) 私ハ反對デス、質問ガ濟ンデカラデ宜シイ

○望月長夫君(十九番) チョット提出者ニ質問ヲ致シマスガ、是ハ特別増徴

ノ地租ニ府縣稅及市町村稅ヲ掛ケルノハ、能ク分ツテ居リマスガ、サウナリマ

スルト地價修正ニ依ツテ地價ガ減ゼラレ、此減ゼラレタ地價ハ無論減ゼラレ

タ地價ヲ標準ニシテ減ゼラレタ部分ニハ、矢張其上ノ増徴ニカケヌカラ、此

地價修正ノタメニ減ジタ場所ハ、差當リ餘程此從前ヨリモ地方ノ財源ガ減ル

コトニナルカ、是ガ若シサウ云フコトニナツタラバ、是等ノ事項ニ就イテ

ハ從來取來ツタ徵稅ノ方法ノ上ニ隨分面倒ガ起ルコトデ、一々煩雜ナ認可ヲ

受ケル手續ヲセニヤナラヌヤウニナルダラウト思ヒマスガ、提出者ノ御調ニ

依リマスレバ、此地價修正ニ依ツテ地價ノ減ゼラレル地方ニ於テモ此法律ヲ

此儘ニ施行シテ差支ガナイ御見込デアルカ、其邊ノ御見込ヲ伺ヒマス

○藤金作君(百二十一番) 十九番ノ御問ニ御答致シマスガ、如何ニモ御問ノ

如ク百萬圓ノ一府縣ニシテ二十萬圓減リマシタナラバ、八十萬圓ノ地方ニ

マデノ府縣地租割ヲ割ルトキニナツテハ、或ハ制限外ニ超過スルデアラウト

存ジマス、ソレ等ハ地租ノ減ジタノハ、其重キヲ輕メタノデゴザリマスルカ

ラ、其結果トシテ制限以外ニ徵收ノ必要ノアル場合ハ、是ハ其許可ヲ受ケル

ニ差支ナイコト、存ジマス、斯ノ如キ地方ニ於キマシテハ、此地租増徴年限

ノタメニハ實ニ是マデノ重キヲ輕メタ結果デアリマスルカラ、其割合ニ數

ガ増徴ノ分ニ賦課ヲセズシテ、在來ノ地租ノ數ガ減ツテ是マデ一圓ニ附イテ三

十錢ノ負擔ガ三十五錢トナリマシテモ、ソレハ一向其農民ノ苦ミト云フコト

ハナイコトデゴザイマス、單ニ五年ノ說ハ是ハ除ケモノデゴザイマスカラ、

地方ノ經濟ノ全體ニ見渡シマシテ、成ルタケ其徵收スル區域ノ狹マケレバ、

不自由ニナル代リニハ、又或ル部分ニ於テハ其地方ノ費用モ亦制限スル結果

モ出來テ來マスカラ、一時特別徵收致ス所ノモノハ、是ハ元來性質永遠ノ基

礎デナイ、是ハ一時ノ賦課デアアル、且ツ府縣或ハ町村ニ於テ一時必要トスル場

合ニ於テ繼續年期徵收スル費目ト毫モ異ナラヌモノト心得テ私ハ宜カラウ

ト思ヒマス、唯今十九番ノ御問ノ如キ場合ハ地租輕減ノ結果トシテ其地租割

ノ地租額ノ減ルノハ、少シモ差支ノナイコトデアラウト考ヘマス

○西村淳藏君(六十二番) 本案ハ至極結構ナ案デゴザイマシテ、即チ本員モ

贊成者ノ一人デゴザイマスガ、併シ數字ニ關係スルコトデゴザイマスカラ、

或ハ其間ニ多少ノ行違ガ出來テ面白カラザル結果ヲ來シテハ實ニ本員ノ遺憾

ニ堪ヘヌ所デゴザイマスカラ、免ニ角是ハ委員ニ付託スルコトニシテドウカ

満場ノ御贊成ヲ仰ギタイ

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 委員說ガ出マシタカラ……

○工藤行幹君(百二十五番) 委員付託ニナレバ、敢テ反對シマセヌ、免ニ角

委員ニ付託シテ……

○議長(片岡健吉君) 委員付託ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス——議事日程ノ第十二ハ、提出者カラ

此議事ヲ延バシタイト云フ申出ガアリマシタカラ、是ハ延バスコトニシマシ

タ、議事日程ノ第十三ニ移リマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第十三 明治三十九年法律第九十一號中改正法律案 第一讀會

明治三十九年法律第九十一號中改正法律案

第一條 會計検査院評定官身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハス九十日ヲ踰ヘ尙治癒ノ徵候ヲ見サルニ至リタルトキハ之ニ退官ヲ命スルコトヲ得

命スルコトヲ得

○西村淳藏君(六十二番) チョット先刻申殘シマシタガ、議長ノ指名ニシテ九名ノ委員ヲ置クコトニ致シタイ

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 此議事日程ノ第十三ハ、工藤行幹君ノ提出セラレタ案デアリマスルガ、工藤君ハ本案提出ノ理由ヲ御述ニナリマスカ

○工藤行幹君(百二十五番) 此次ノ日程デゴザイマスルガ、是ハ先刻第十二ノ日程ハ當分ドウカ

○議長(片岡健吉君) 今其コトハ宣告シテ、次ノ日程ノ第十三ニ移ッテ居リマス、此十三モ御延ニナリマスカ

○工藤行幹君(百二十五番) イエ、是ハ延バシマセヌ、十三ト十四ハ是ハ前ノ議會モ一通通過シテ居ルノデゴザイマスル、是ハ當然委員會ニ掛ラウト思ヒマスルカラ、別段理由ヲ述ベズトモ、免ニ角委員會ニ付託シテ諸君等ノ御贊成ヲ得テ委員付託ニ致シタイ、(賛成々々)ト呼フ者アリ 尙ホ此十四モ同様ナモノデゴザイマスルカラ、諸君ガ御贊成下サレバ、別ニ理由ハ述ベマセヌ

○議長(片岡健吉君) 政府委員平田東助君

(政府委員法制局長官平田東助君演壇ニ登ル)

○政府委員(平田東助君) 工藤行幹君カラシテ御提出ニナリマシタ二十九年法律第九十一號中改正法律案ニ就イテ一言御參考ノタメニ申上ゲタイ、此會計検査院評定官身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハス云々ト云フコトデゴザイマスル、此案ハ前ニ日程第十三ノコトカラシテ評定官ト云フヤウナ文字ガ關連致シテ居リマスヤウデアリマスルカラ、是ハ他日第十三ノ日程ニ載ッテ居ル所ノ會計検査院法ノ改正ノトキニ當リマシテ聊カ諸君ノ前ニ意見ヲ陳述スルコトニ致シマセウト思ヒマス、唯今ハ唯此 第十三デゴザイマセヌ、十二デゴザイマシタ、唯今ハ此コトニ就イテ唯一言ヲ述ベテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第十二ハ延バス……

(恆松隆慶君 日程以外ノコトハ述ベルニ及バズ、政府委員ト雖モト呼フ)

○政府委員(平田東助君) 「身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハス九十日ヲ踰ヘ」云々ト云フコトデアリマスルガ、是ハ現時俸給令ニ於キマシテ若シ病氣デゴザイマスルコト云フト、九十日間ハ措キマシテ、其上ニ俸給ヲ減ズルコト云フコトニナッテ居ルノデ、然ルニ是ハ精神衰弱ニ依ッテ職務ヲ執ルコト能ハズ、九十日ヲ踰ヘ尙ホ治癒ノ徵候ヲ見サルニ至リタルトキハ之ニ退官ヲ命スルコトヲ得、是ハ尋常ノ疾病トハ違ヒマシテ精神若クハ身體ノ衰弱ニ依ッテ職務ヲ執ルコト能ハズト云フ位ナ場合ニ至リマシテモ宜イト云フ事實ニナッテハ參リマセヌカ、ソレハ今日ノ即チ現行ノ法律ノアル所以デアラウト思ヒマス

ル、然ルニ彼ノ俸給令ニ於テ尋常ノ疾病ノ際ハ、此九十日ト云フコトノ制限ガアツテ、會計検査官モ亦其法規ノ内ニ屬シテ居ルノデアアル、會計検査官ハ他ノ事件ニ就イテハ法律ニ依ッテ支配ヲ受ケル外ニ彼ノ俸給令ノ如キハ、尙ホ彼ノ俸給令ノ恩惠ニ屬シテ居ルノデアアル、然ラバ尋常ノ疾病ノ場合ハ斯ノ如ク茲ニ法規ヲ要セズ、此九十一號ト云フコトハ當然ニ受ケ得ルノデアアリマスルガ、斯ノ如ク身體若クハ精神ノ衰弱ニ依ッテ退官ヲ決議セラハ、ト云フ如キ場合ニ至ッテハ、固ヨリ豫メチヤント見ル所ガアルニ違ヒナ

イ、斯ノ如キ場合ニ際シテモ、尙ホ九十二條ヲ置カナケレバナラヌト云フコトハ、恐ラクバ其穩當ヲ缺イテ居ラヌカト云フ考デアリマスルカラ、此法案ノ精神ハ何レニアアルカ、本官等ハ甚ダ理解ニ苦シムデアリマス、故ニ斯ノ如キ修正ハ、ドウモ御同意致シ兼ネマスノデアリマス、御參考マデニ供シマス

○工藤行幹君(百二十五番) 委員ニ付託シテアレバ、一ツノ議論ト思ヒマスカラ、今此處デ辯駁スル必要ハナイト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員說ガ出テ居リマスルカラ、採決致シマス、此案ヲ委員ニ付託スルニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、是ハ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シマシテ、御異議アリマスマイカ

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) ソレデハ議長ガ指名スルコトニ致シマス、此前ノ第十

一ノ議案モ特別委員ニ付スト云フコトニナリマシタガ、其特別委員ハ議長ガ指名シテ、御異議ナシト云フコトヲ、議場ニ諮ヒマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、特別委員ヲ九名、議長ガ指名スルコトニ致シマス、次ハ議事日程第十四

第十四 會計検査院長官評定官懲戒法案(工藤行幹 第一讀會)

君外一名提出)

第一章 總則

第一條 會計検査院長官評定官ノ懲戒ハ左ノ場合ニ於テ臨時懲戒裁判所ノ裁判ヲ以テスヘシ

第一 職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

第二 官職上ノ威嚴又ハ信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

第三 懲罰ハ左ノ如シ

第一 免職

第二 減俸

第三 前條ノ懲罰ノ適用ハ所犯ノ輕重ニ從ヒ懲戒裁判所之ヲ定ムヘシ

懲戒裁判所ハ懲罰ノ適用ヲ定ムルニ當リ平生ノ行狀ヲ斟酌スルコトヲ得

第四條 減俸ハ一月以上一年以下年俸月割三分ノ一以內ヲ減ス

第五條 免職ノ言渡ヲ受ケタル者ハ現任ノ官ヲ失ヒ及恩給ヲ受クルノ權ヲ失フ

第二章 懲戒裁判所

第六條 懲戒裁判所ハ檢察總長ノ申告ニ依リ之ヲ構成ス其ノ裁判長及裁判

員ハ之ヲ定ム

第三條 懲戒裁判所ハ懲罰ノ適用ヲ定ムルニ當リ平生ノ行狀ヲ斟酌スルコトヲ得

第四條 減俸ハ一月以上一年以下年俸月割三分ノ一以內ヲ減ス

第五條 免職ノ言渡ヲ受ケタル者ハ現任ノ官ヲ失ヒ及恩給ヲ受クルノ權ヲ失フ

第二章 懲戒裁判所

第六條 懲戒裁判所ハ檢察總長ノ申告ニ依リ之ヲ構成ス其ノ裁判長及裁判員ハ之ヲ定ム

官ハ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ任命シ書記ハ大審院書記中ヨリ裁判長之ヲ命ス

第七條 懲戒裁判所ハ大審院ニ置キ左ノ職員ヲ以テ組織シ大審院長ヲ以テ裁判長トス

大審院長
大審院判事
行政裁判所評定官
會計検査院評定官
書記
二員
二員
二員

第八條 懲戒裁判所ハ檢察總長ヲ以テ原告人トス

會計検査院長官若ハ評定官三名以上ノ連署アルトキハ之ヲ檢察總長ニ告發スルコトヲ得

第九條 懲戒裁判官ノ忌避回避ニ付テハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第十條 懲戒裁判所ハ事件結了毎ニ之ヲ解ク

第三章 裁判手續
第十一條 懲戒裁判開始及其ノ判決ハ懲戒裁判官合議ニ於テ過半数ヲ以テ之ヲ決定ス

第十二條 開始ノ決定ハ懲戒スヘキ所爲及證據ヲ開示シ裁判長ヨリ被告ニ送達スヘシ

第十三條 懲戒裁判長ハ口頭辯論ノ期日ヲ定メ被告人ヲ呼出スヘシ

第十四條 辯論ハ之ヲ公行セシ

第十五條 口頭辯論ハ開始決定ノ朗讀ニ始マルモノトス

裁判長ハ先ツ被告人ヲ審訊シ證據調ヲ爲シ被告人ヲシテ證據ノ結果ニ付辯論ヲ爲サシメ被告人ニ最終ノ發言ヲ許スヘシ

第十六條 被告人ハ他人ヲシテ辯護セシメ又ハ代理人ヲ用井ルコトヲ得

第十七條 懲戒裁判長ハ事件ノ辯論既ニ十分ナリトスルトキハ之ヲ終結シ評議決定スヘシ

第十八條 評議決定ノ上ハ主文及其ノ理由顯末ヲ書記シ之ヲ被告人ニ言渡シ同時ニ内閣總理大臣ニ之ヲ報告スヘシ

但減俸ノ懲罰ヲ言渡シタル場合ニ於テハ會計検査院ニモ通知スヘシ

第十九條 懲戒スヘキ所爲ハ本法實施前ニ關スルモノト雖モ本法ニ從ヒ之ヲ訴追ス

○工務行幹君(百二十五番) 是モ前同僚ノコトデゴザイマスカラ、是モ第三ノ委員ニ付託セラレルコトニナリマシタラ宜カラウ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、前ノ委員ニ付託スルコトニ致シマ

ス
○議長(片岡健吉君) 「ト呼フ者アリ」
議事日程第十五ニ移リマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマ

第十五 出) 愛媛縣下郡界變更法律案(重岡薰五郎君提 第一讀會
愛媛縣下郡界變更法律案
愛媛縣伊豫國西宇和郡平野村ヲ同縣同國喜多郡ニ編入ス

○重岡薰五郎君(八十三番) 本員ハ愛媛縣下郡界變更法律案ヲ提出シタルコトニ就イテ、簡短ナル理由ヲ申上ゲマス、此變更案ハ西宇和郡平野村ト申シマスモノヲ喜多郡ニ編入シヤウ、斯ウ云フ趣意ニ外ナラヌノデアアル、其譯ハ平野村ナルモノハ非常ナル所ノ高山ヲ隔テマシテ、サウシテ此西宇和郡ニ附屬サレテ居ルノデゴザイマスカ、一方ニ於キマシテ喜多郡ニ向ッテ如何ナル地理ノ關係デアアルカト申シマス、喜多郡ニ於キマシテハ平坦ナル一里バカリノ道路郡役所ヘ達スル、斯ウ云フ便利ガアルノデアアリマス、一方ニ於テ斯ノ如キ不便ガアリ、一方ニ於テ斯ノ如キ便利ガアルト云フ關係カラ致シマシテ、總テ交通ノ關係、商業ノ關係、或ハ諸役所ノ關係、郡役所ノ關係、郵便電信局ノ如キ、或ハ登記所ノ如キ、管轄ハ西宇和郡ニ屬シテ居ルケレドモ、其事務ハ喜多郡ノ關係ガアル所ノ役所ニ、平野村ガ附屬ガ極メテ居ルケレドモ、其ノ如ク種々ノ關係ガアルニ拘ラズ、今日西宇和郡ニ屬スルツウノハ、甚ダ謂レナイコトデゴザイマスカ、諸君ノ御贊成ヲ得マシテ、本案ハ速ニ通過セラレ

ンコトヲ希望スルノデアアル、尤モ此案ニ就キマシテハ、鄭重ニ議サナケレバナラヌ必要ガアリマスカラ、然ルベク委員ヲ御選擇ニナリマシテ、委員デ能ク御調査ノ上デ、諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイト思ヒマス

○恆松隆慶君(九十七番) チョット御尋シマスガ、此問題ニ就イテハ贊否ノ申込ガアリマスガ、議長ノ御手許ヘ

○議長(片岡健吉君) ゴザイマセヌ

○恆松隆慶君(九十七番) 然ラバ是等ノコトハ幾ラ尋ネマシテモ、事實問題デアリマスカラ、直チニ委員ニ付託シテ十分調査セシムルガ宜カラウト思ヒマス、(即チ委員ハ九名、議長ノ指名ト云フコトニ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君カラ、委員ニ託スルト云フ動議ガ出マシタガ、是ハ九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルコトニシテ、異議アリマスマイカ

○議長(片岡健吉君) 「ト呼フ者多シ」

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通致シマス、次ハ議事日程第十六議案ノ朗讀ハ省略致シマス、稻垣示君

第十六 府縣農事試驗場國庫補助法案(稻垣示君外 第一讀會
二名提出)

府縣農事試驗場國庫補助法案
第一條 府縣農事試驗場國庫補助法案

五萬圓ヲ支出シテ其ノ費用ヲ補助スヘシ

第二條 農商務大臣ノ定ムル府縣農事試驗場規程ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經タル府縣農事試驗場ニ付農商務大臣必要アリト認メタルトキハ之ニ補助金ヲ交付スヘシ但シ一府縣一箇所ニ限ル

第三條 各試驗場ニ交付スル補助金ハ其ノ設立者ノ負擔額ト同額以內ニ限ル

第四條 此ノ法律ニ依リ補助ヲ受クル試驗場ノ設立者ハ補助年期間其ノ試驗場經費ヲ繼續支出スル義務アルモノトス

第五條 試驗場ニ補助金ヲ交付スルハ五箇年ヲ以テ一期トス滿期ノ後尙必要アルトキハ之ヲ繼續スルコトヲ得但シ農商務大臣ニ於テ試驗場ノ管理不適當ナリト認メタルトキ又ハ府縣農事試驗場規程ニ違背シタルトキ又ハ第四條ノ義務ヲ盡スコト能ハサルトキハ補助年期間ト雖モ其ノ補助ヲ

府縣農事試驗場國庫補助法案 第一讀會
二〇二

廢シ若ハ停止スルコトヲ得
第六條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附則

第七條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

(稻垣示君演壇ニ登ル)

○稻垣示君(二百二十三番) 本案ハ各府縣ノ農事試驗場へ一箇年二千圓宛、即チ總額十五萬圓ノ補助ヲ與ヘヤウト云フ案デゴザイマス、抑、我日本ハ農ヲ以テ國ヲ建テ、數千年ノ久シキヲ經テ居リマス、ツレガタメニ、式上ノ農業ニハ餘程精シクナツテ居ルト申シマスガ、餘程マダ是ヨリ改良スベキモノ、發達スベキ事柄ト云フモノガ、非常ニ夥シクアルダウト思ヒマス、又國家ヲ經營スルニモ農ト云フモノハ、非常ニ重キ負擔ヲ受ケテ居ル譯デゴザイマス、尙更此點カラ願ミテモ、農業ヲ發達センケレバナラヌト思ヒマス、ツレデ各府縣ニ於キマシテ是マデト云フモノハ、色々地方稅ヲ以テ補助シテ來タ所モゴザイマス、又其他ノ方法デ試驗場ヲ設ケタ所モゴザイマス、ケレドモ、地方稅ノ多額ニナリマスヨリ、或ハ其他ノ事情ヨリ致シマシテ、一時建テタモノモ廢メルトカ、又マダ未設ニシテ行レヌ所モゴザイマス、甚ダ遺憾ナコトデアラウト思ヒマス、故ニ是マデ設立シテ來タ所ヘハ相當ノ補助金ヲ與ヘ、又補助金ヲ與フルト云フコトニナレバ、地方ニ於テ奮ツテ此試驗場ヲ設ケルモノモ出來、又地方稅ヲ以テ設立スルモノモアルニ至ラウト思ヒマス、サウシテ其額ト云フモノハ、此各府縣ノ農事試驗場ノ費用ガ、地方稅其他デ例ヘバ三千圓出セバ、ツレヨリ以內ノ分ヲ以テ補助スルト云フコトニ致シタ方ガ宜カラウト考ヘマス、日本ノ如キハ農ヲ以テ國ヲ建テルト雖モ、今日マデ國庫デ以テ補助シテ、試驗場ヲ建テタコトハゴザイマセヌモノデスカラ、非常ニ振ハヌヤウナ有様デアリマス、又各國ノ農ヲ以テ國ヲ爲サヌ所デスカラ、非常ニ農事ノ改良ニハ力ヲ盡シテ、國庫カラ非常ナ金ヲ出シテ、之ヲ補助スル途ガ立テ、アルヤウニ承ツテ居リマス、一二ノ例ヲ申シマスレバ、佛蘭西ノ如キハ一箇年ニ補助費ガ、國庫ヨリ二百七十六萬圓ト云フモノガ、支出シテアルサウデゴザイマス、又伊太利ノ如キハ中央政府ヨリ五分ノ三マデ補助シテ、残りノ二分ト云フモノハ、地方若クハ農事試驗場ヲ設立シタモノガ出スト云フヤウナ割合デ、隨分補助額ガ多クナツテ居ル、又小國白耳義ノ如キデスラモ、三百七十六萬ト云フ國庫ノ補助ヲ與ヘテ居ル、又獨逸ノ如キハ四百二十七萬圓ト云フ補助ヲ與ヘテ居ル、又北米合衆國ハ五百八十五萬圓ト云フ補助ヲ與ヘテ居ル、斯様ニ農ヲ以テ國ヲ爲サヌサウ重キヲ置カヌ國デスラ、斯クノ如キ多額ノ補助金ヲ與ヘテ居ルニモ拘ラズ、我國ハ農ヲ以テ國ヲ建テ振作改良發達スベキ事業ガ澤山アルハ、私ハ遺憾ト思ヒマス、故ニ此案ハ國庫金ノ今日ハ出途ガナイヤウナ變ガアルカモ知レマセヌガ、十萬ヤ十五萬ノ如キコトハ、他ニ如何ナル方法ヲ用ヒテヤツタ所ガ、ドノ途ノ中デモ幾分サヘ出ス途ノ中デ線合シタナラバ、何デモナイコト、思ヒマス、今日マデマダ各府縣ニ農事試驗場ノ行レテ居ル所ハ、十府縣カシカナイヤウニゴザイマス、是ト云フモノモ時ニ或ハ廢シ或ハ設ケラレナイ所モアリマス、故ニ是等ノ如キハ一定ノ補助金ヲ與ヘタナラバ、各府縣ト云フモノハ、行レル所ハ無論盛大ニナリ、行レヌ所ハ奮ツテ地

方稅其他デ農事ノ試驗場ヲ設立スルニ至ルデアラウト思ヒマス、故ニ此案ハ極簡單ナモノデ僅ノ金ノコトデゴザイマスレバ、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス
○恆松隆慶君(九十七番) 此案ハ前年來折々此議會ニ現レル問題デゴザイマシテ、殊ニ全國實業家團體杯ハ、希望シテ居ルデゴザイマセウ、直チニ協贊ヲ致シテ宜イヤウナモノデゴザイマスガ、併シ補助ノ金額ニモゴザイマスルシ、十分是ハ委員ニ託シテ調査セシメテサウシテ成立ツコトヲ希望致シマス、ドウカ直チニ委員ノ付託ニ、即チ其委員ハ九名ノ委員ヲ議長ノ指名ニ致シタイ
○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君ノ動議ノ通此案ハ委員ニ付託スルコトニシテ、其委員九名ヲ議長ガ指名スルコトニ御異議アリマスマイカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通ニ致シマス、議事日程ノ第七ヨリ第二十五マデハ請願委員長ヨリ都合ガアツテ報告ヲ延バシタイト云フ申出ガアリマスカラ、此報告ハ延バスコトニ致シマス、サウシテ議事日程ヲ報告スル前ニ請願ノ件ニ附キ御諮リスルコトガアリマス、淺野順平君ガ母病氣看護ノタメニ本日ヨリ二十七日マデ十日間ノ請願、金田平五郎君ガ家族病氣看護ノタメ本日ヨリ二十七日マデ十日間ノ請願ヲ、各々申出デラレマシタ許可シマシテ御異議アリマスマイカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、是ガ許可ヲスルコトニ致シマス、明日ノ議事日程ヲ報告シマス
(寺田書記官朗讀)

議事日程 第十六號 明治三十二年一月十九日(木曜日)

午後一時開議
議事日程 第十六號 明治三十二年一月十九日(木曜日)

- 第一 (第三號) 明治三十一年度歲入歳出總豫算追加案
- 第二 (第六號) 明治三十一年度歲入歳出總豫算追加案
千葉縣茨城縣境界變更法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 行政裁判法中改正法律案(利光鶴松君外八名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 辯護士法中改正法律案(利光鶴松君外八名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 農會法案(三橋四郎次君外十二名提出) 第一讀會
- 第六 質屋取締法中改正法律案(西村淳藏君外三名提出) 第一讀會
- 第七 訴願法中改正法律案(利光鶴松君外七名提出) 第一讀會
- 第八 社寺林地保管法案(出水彌太郎君外三名提出) 第一讀會
- 第九 建議案(神樂知常君外二名提出)
- 第十 建議案(片岡健吉君) 是ニテ散會致シマス
午後四時十五分散會